

GUIDE BOOK OF CAMPUS LIFE 2026 南山大学 学生生活案内



NANZAN UNIVERSITY

コミュニケーションロゴ

コミュニケーションロゴは、ZANを上昇させ、NとZを交じ合わせ、プラス思考・交流をイメージさせる十字を形づくったデザインです。十字はキリスト教の精神を表すと共に、今まで培ってきた伝統を大切にしながら、新しい付加価値を創造し、未来へ発展していこうとする「伝統と未来の調和」を象徴しています。ZANが上がっている形状は、向上心とチャレンジ精神など前向きな上昇志向を表現しています。



エンブレム

南山大学の伝統性を表現し、象徴性と権威性を強調したものです。NANを縦にZANを横に組み合わせ、クロスを描いた形を表現し、キリスト教の精神を象徴した独自性と知性の標章です。クロスの中には、アルファベットの先頭文字Aが重なっています。Aは「No.1、最高位」を意味し、国際的にもトップに輝く南山大学を表しています。

コミュニケーションロゴ エンブレム	1
Contents	2
南山大学の教育モットー	4
建学の理念	
南山大学の特色	4
質の高い教育	
地域社会への貢献	
国際性	
AΓOPA(アゴラ)	
EPISTOLA(エピストラ)	
個の力を、世界の力に。	
学生による授業評価	
南山大学の沿革	6
南山大学の組織	8
南山大学の教育・研究組織図	
南山大学の事務組織図	
南山大学の役職者(2026年度)	
基本事項	12
学生証	
学生番号	
指導教員	
メンバーシップ契約	
窓口・Webページ案内	13
学生生活窓口	
在学生向けWebページ「在学生の皆様」	
無線LAN接続	
PORTA(ポータルサイト)	
各種取扱窓口	
掲示板	19
公示・掲示・学生用掲示板	
各種証明書の発行	20
証明書等の交付願と手数料	
授業・試験	21
授業と試験	
追試験	
成績発表および成績疑問調査	
卒業	
学籍	24
休学	
復学	
退学	
再入学	
学生納入金	25
学生納入金	
納入についての注意	
延納	
「1科目登録者」としての減免について	
休学中の学生納入金と在籍料について	
高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金)について	

奨学金等	27
奨学金	
教育ローン	
通学	28
学割証	
定期券	
自動車通学	
自動二輪車(原付を含む)・自転車通学	
通学マナー	
学生ロッカー・学生セミナー室	30
学生ロッカー	
学生セミナー室	
マンション・アルバイト	32
南山大学学生専用マンション	
民間のアパート・マンション	
アルバイト	
いわゆる「闇バイト」に関する注意	
多文化交流	33
派遣留学制度	
短期留学プログラム	
第2クォーター在学中在外学習制度	
国際学生宿舎	
多文化交流ラウンジ	
ジャパンプラザ	
ワールドプラザ	
奨学金	
課外活動案内	35
課外活動の概要	
集合・行事の許可申請	
印刷物の配布・貼紙・立看板について	
課外活動団体宛郵便物	
課外活動登録団体	
課外講座	
南山エクステンション・カレッジ	
保健センター (保健室・学生相談室・大学生生活支援室)	39
保健室(オリーブ)	
学生相談室(エマオ)	
大学生生活支援室(ベタニア)	
健康診断	
AED(自動体外式除細動器)	
予防接種	
インフルエンザ・新型コロナウイルス	
保険・ハラスメント	41
保険	
見舞金・弔慰金・慰問金	
ハラスメント防止への取り組み	
キャリア支援	42
キャリアサポートプログラム	
インターンシップ	
就職支援	
防災	44
防災	

注意事項 46

学内で盗難・事件・事故に遭ったら
遺失物と盗難防止
飲酒について—南山大学の基本方針と注意喚起—
喫煙
学内施設の保全と防災・防火
地域住民等への迷惑行為の禁止
キャンパスマナー
「悪徳業者」「マルチ商法」による被害に遭わないために
悪質な宗教団体からの勧誘
学生ローン・クレジットカード使用の注意
ひとり暮らしに関する注意
薬物使用に関する注意
海外へ渡航する際の注意
ソーシャルネットワークサービス(SNS)を利用する際の注意

大学内施設 50

キャンパス校舎
総合受付
本部棟
C棟
食堂・コンビニエンスストア・書店など
教室棟
S棟
昼食利用可能な教室
人類学博物館(R棟地下1階)
L棟(ヒルシュマイヤー記念館)
第1研究室棟
第2研究室棟・N棟
リアン
R棟
南山大学ライネルス中央図書館
J棟
D棟
F棟
K棟
A棟(法科大学院棟)
クラブハウス・第2クラブハウス・リアンクラブハウス
コパン(学生会館)
Q棟
体育施設
ロゴスセンター(キリスト教センター)
茶室
グリーンエリアとパッセスクエア
研究所等

その他の施設 58

南山大学の研修施設
同窓会
神言神学院
南山アーカイブズ

学則・規程・ガイドライン等 61

南山大学学生歌 61

キャンパスマップ 巻末

避難経路図

南山大学の教育モットー

HOMINIS DIGNITATI 人間の尊厳のために

建学の理念

南山大学を運営する南山学園は、カトリックの修道会である神言会が設立母体となっています。明治末期に来日した神言会ドイツ人宣教師ヨゼフ・ライネルス神父が、1932年に南山中学校(旧制)を設立。1946年南山外国語専門学校(1947年名古屋外国語専門学校に改称)が開設され、1949年1学部4学科からなる南山大学となり、初代学長にはアロイジオ・パツヘ神父が就任しました。創立から75年を経た今日では、8学部18学科および6研究科を擁する総合大学へと発展しています。

南山大学は、中部地区を含む西日本で唯一のカトリック総合大学で、「キリスト教世界観に基づく学校教育を行う」をその建学の理念としています。この建学理念に具体的な方向性を与えるために、本学は「人間の尊厳のために」(ラテン語で Hominis Dignitati)という教育モットーを掲げています。

キリスト教では、人間は神に創造されたものとして侵すことのできない「尊厳」つまり人間としてのかけがえのない価値や権利を持っている、と教えられています。このような人間の尊厳をしっかりと把握し、これを尊重しつつ生きていく人間になるように、という願いがこのモットーに込められているのです。

学生の皆さんが在学中、学問と信仰の光に照らして、人間の尊厳と人生の真の意味について考え、人間のあるべき姿に近づき、人間としてふさわしい生き方ができる社会を築く力を養うようにと願っています。



初代学長 アロイジオ・パツヘ神父

南山大学の特徴

質の高い教育

南山大学では、少数の例外を除けば、学生は他学部の講義を自由に履修することができます。学部間の垣根が極めて低い総合大学だということは本学の特徴と言えるでしょう。

クラスサイズが教育効果に影響を与えるのは言うまでもありません。本学では、社会科学系学部の必修科目で受講者数が数百名に達するものもありますが、一般には小クラスが極めて多いことが特徴的です。殊に、ゼミナールを中心とする指導の原則は固く守られています。

本学では原則として、すべての教員が専門も教養も教えることになっています。この考えは当然カリキュラムにも反映して、すべての学部・学科で専門教育科目は1年次から始まります。教育組織でもカリキュラムの面でも専門と教養の教育が一本化しているのは本学の教育の重要な特徴です。

地域社会への貢献

南山大学は地域社会と深く結び付いた大学です。多数の学生がこの地方の出身で、卒業生の多くは中部地方に本社を持つ企業に就職し、また高校・中学の教員や公務員の道に進む者も多いのも特徴と言えます。

本学は大学の社会的責務について早くから深い関心を持ち、南山エクステンション・カレッジ公開講座・公開講演会など主に大学が企画・運営し、社会へ積極的に働きかけるもの、学外講座、寄附講座など自治体や企業と連携・協力して行うもの、総合学習のように中学・高校からの要請を受けて講師を派遣するものなどを実施しています。また、小学生・中学生を対象とした講座も開講するなど、南山大学の『知』を社会に還元しており、機会あるごとに地域社会への貢献を推進しています。

国際性

国際性もまた、設立当初から南山大学の特色と考えています。研究者、教員のレベルだけでなく、学生においても、交流は国の内外を問わず極めて活発です。交換留学や短期留学の対象となる協定校の数も増え、例年多くの学生が米国をはじめとする世界の各大学に留学し、外国人留学生別科においては、年間約400名の世界各国の学生が日本語や日本文化等を学ぶほか、学部あるいは大学院でも約150名の留学生が、日本人学生と肩を並べて学んでいます。

外国人専任教員が占める割合の高さは全国有数ですが、そのほかにも客員講師や短期滞在の研究者も迎えています。



AΓ OPA(アゴラ)

大学と学生の対話の場として、学内専用Webページに設けている投書箱です。学生の皆さんの率直な意見、要望等により、大学の改善を図っていきたいと思います。次のURLから皆さんの声をお寄せください。

<https://agora.nanzan-u.ac.jp/>



EPISTOLA(エピストラ)

学長自らが語る「南山大学の今」(最新のニュースなど)をメールマガジンとして、毎月1回在学学生、保証人をはじめ、受験生、卒業生、一般の方へお伝えしています。配信の申し込みは次のURL(登録画面)からお願いします。

(Webページにも掲載しています。)

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/magazine/>



個の力を、世界の力に。

南山大学では、2006年度末に20年後の将来像(グランドデザイン)を策定し、そのビジョン・キーフレーズを「個の力を、世界の力に。」と決めました。このビジョンは、「人種、障がい、宗教、文化、性別など、様々な違いを認識し、多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を大切に、人々が共生・協働することで、新たな価値の創造に貢献する」ことで、本学は世界から選ばれ、世界に人材を輩出することができ、地域に根ざしていると同時に世界に開かれている大学になっているのだという願いを込めています。

このように様々な違いを認識し、多様性を尊重した新たな価値の創造は、今後、世界的にも重要な価値観のひとつとなるでしょう。人間の尊厳—自分自身と他者の尊厳を尊重し、それを指針に生き、推進していく人々が共生・協働することにより「個の力」が結集され、世界に貢献できる「世界の力」となりえます。本学が教育・研究・社会貢献を通じて実現するのは、「個の力」が錬磨され、新たな価値を創造する学的共同体であり、「世界の力」として世界に貢献できる人材の育成であると考えます。

学生による授業評価

南山大学では、「学生による授業評価」を全学で実施しています。「学生による授業評価」の目的は、教員が担当する授業に関して改善すべき点を見出し、今後の授業に反映させることにより、南山大学全体の教育の質を向上させることにあります。担当教員が南山大学の教員であるか他大学から出講している教員(非常勤講師)であるかにかかわらず、各学期1教員1科目を対象として実施しています。

授業は、皆さんと授業担当者が共同でつくりあげていくものです。そうした共同作品としての授業を評価するという視点から、率直かつ誠実な回答をお願いしたいと思います。

「学生による授業評価」の結果はWebページ上で開示しています。

自由記述による意見、要望等に関しては、授業担当者だけでなく、関係事務部署で共有し、授業環境を整備するための参考とさせていただきます。また、意見、要望等への対応についてはWebページ上で開示します。「学生による授業評価」の趣旨をご理解いただき、授業評価の実施にご協力をお願いいたします。

南山大学の設立母体はカトリック教会の修道会「神言会」*です。この修道会は、1875年アーノルド・ヤンセン師によってオランダで創設され、以来宣教、司牧、司祭養成のほか、学校教育、学術研究、良書の出版普及などに尽力してきました。

神言会会員が日本に初めて渡来したのは1907年で、当初は宣教活動に重点を置いていました。しかし1932年、当時名古屋教区長であったヨゼフ・ライネルス神父が、日本における教育活動の重要性を感じ、昭和区五軒家町に財団法人南山中学校(旧制)を設立して、その初代校長に就任しました。

この法人が1946年には財団法人南山学園へと発展し、パッへ神父の尽力によって、専門学校令による南山外国語専門学校(翌年名古屋外国語専門学校と改称)が創立されました。

財団法人南山学園は1951年、さらに学校法人南山学園に改組され、現在に至っています。

しんげんかい
*神言会とは

Societas Verbi Divini、略称SVD、英語ではSociety of the Divine Word “神の言葉の会”を意味し、この名称は“人となられた神のことは”つまりキリストとの精神的一致を自覚しながら、教会の本質的なはたらきである宣教の使命を果すという会の目的に由来したものです。

<https://svdjpn.com/>



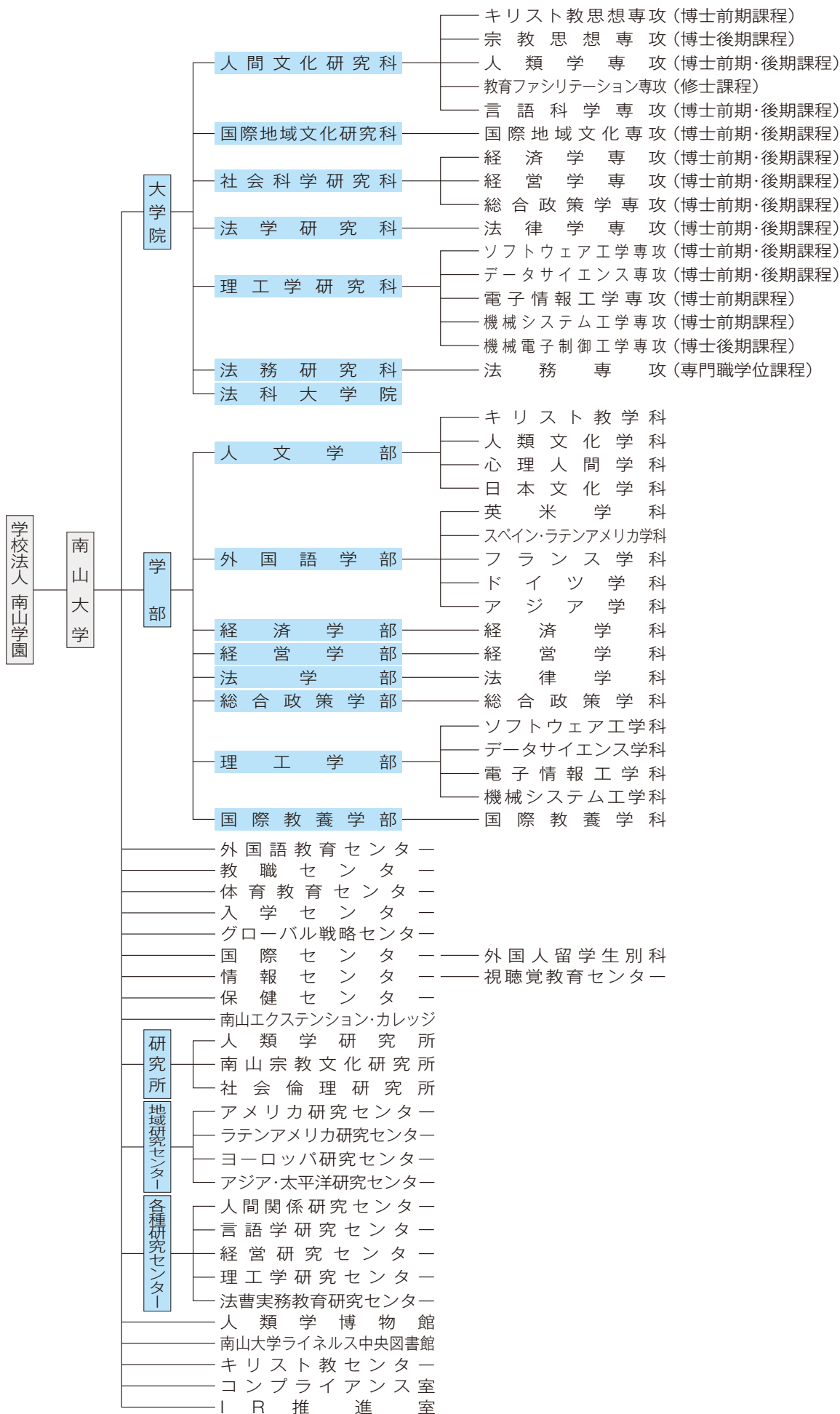
学生の皆さんにも本学の歴史を知ってもらうため、その発展の跡を年表にまとめました。

年 表

1932. 1	財団法人南山中学校設立(名古屋市中区五軒家町6番地の1=現在、昭和区五軒家町6)	1974. 4	日本研究センター(外国人留学生別科)を設置 文学研究科に独文学専攻修士課程 経営学研究科に経営学専攻博士課程を増設
1946. 7	南山外国語専門学校(英語科・華語科)設立	11	学園に南山宗教文化研究所を設置(1979年4月大学に移管)
1947. 4	外国語専門学校に独語科・仏語科を増設(8月名古屋外国語専門学校と改称、1951年4月廃止)	1976. 4	文学研究科に独文学専攻博士後期課程を増設 5 アメリカ研究センターを設置
1948.10	財団法人南山学園の経営をカトリック名古屋教区から神言修道会に委譲	1977. 4	法学部(法律学科)を設置
1949. 4	南山大学(文学部英文・仏文・独文・中国文の4学科)設立(中国文を1962年4月廃止、英文を2004年3月廃止)同第二部(夜間部)を併設(1966年3月廃止)	1979. 4	文学研究科に神学専攻修士課程を増設 人類学研究所附属陳列室が人類学研究所より独立し、人類学博物館となる
9	大学附属人類学民族学研究所設置(後に人類学研究所と改称)	1980. 5	南山経済倫理研究所を設置(1981年6月社会倫理研究所と改称)
1950. 3	大学附属南山第二高等学校設立(1952年大学附属四日市南山高等学校と改称)	1981. 4	法学研究科法学専攻修士課程を設置 文学研究科に神学専攻博士後期課程を増設
4	文学部に哲学・教育・社会の3学科を増設	1982. 4	国際部(日本研究センター・アメリカ研究センターを包含)を設置
1951. 3	財団法人南山学園を学校法人南山学園に組織変更	1983. 4	国際部にラテンアメリカ研究センターを設置
1952. 4	社会科学部(社会学科・人類学科)を設置	1984. 3	神学科・大学院神学専攻課程が「在名古屋南山大学教皇庁認可神学部」としてローマ教皇庁により認可
1958. 4	社会科学部を廃止して経済学部(経済学科)を設置 人類学科を文学部に移設 さらに西語学科を増設 社会科学部を文学研究科と改称し文化人類学専攻博士課程を増設	1985. 4	経営研究センター・視聴覚教育センターを設置
1960. 4	社会科学部を廃止して経済学部(経済学科)を設置 人類学科を文学部に移設 さらに西語学科を増設 社会科学部を文学研究科と改称し文化人類学専攻博士課程を増設	1986. 4	経営学部に情報管理学科を増設 5 国際部にオーストラリア研究センターを設置
1962. 4	文学部に神学科を増設 文学研究科に英文学専攻修士課程を増設	1988. 4	外国語学部に日本語学科を増設
1963. 4	外国語学部(英米科・イスパニヤ科)を設置(文学部西語学科は外国語学部イスパニヤ科へ移行) 経済学部に経営学科を増設 経済学研究科経済学専攻修士・博士両課程設置	1991. 4	国際部にヨーロッパ研究センターを設置
1964. 4	名古屋市昭和区山里町の新校舎(現在の名古屋キャンパス)に移転 文学研究科に英文学専攻博士課程を増設	1992. 4	外国語学研究科英語教育専攻修士課程・日本語教育専攻修士課程を設置
1968. 4	経営学部(経営学科)を設置	1994. 3	国際部を改組
1969. 4	文学研究科に仏文学専攻修士課程を増設	1995. 4	コミュニティカレッジ公開講座を学園より大学と南山短期大学に移管
1972. 4	文学部に国語学国文学科を増設 経営学研究科経営学専攻修士課程を設置 文学研究科に仏文学専攻博士課程を増設	1995. 6	学校法人南山学園と学校法人名古屋聖霊学園が合併
1973.10	大学に隣接してロゴスセンター開館(2017年4月神言会から大学に移管)	2000. 4	◇名古屋キャンパス 文学部を人文学部に名称変更 文学部神学科を人文学部キリスト教学科に名称変更 文学部哲学科および人類学科を人文学部人類文化学科に改組 文学部教育学科を人文学部心理人間学科に改組 文学部国語学国文学科および外国語学部日本語学科を人文学部日本文化学科に改組

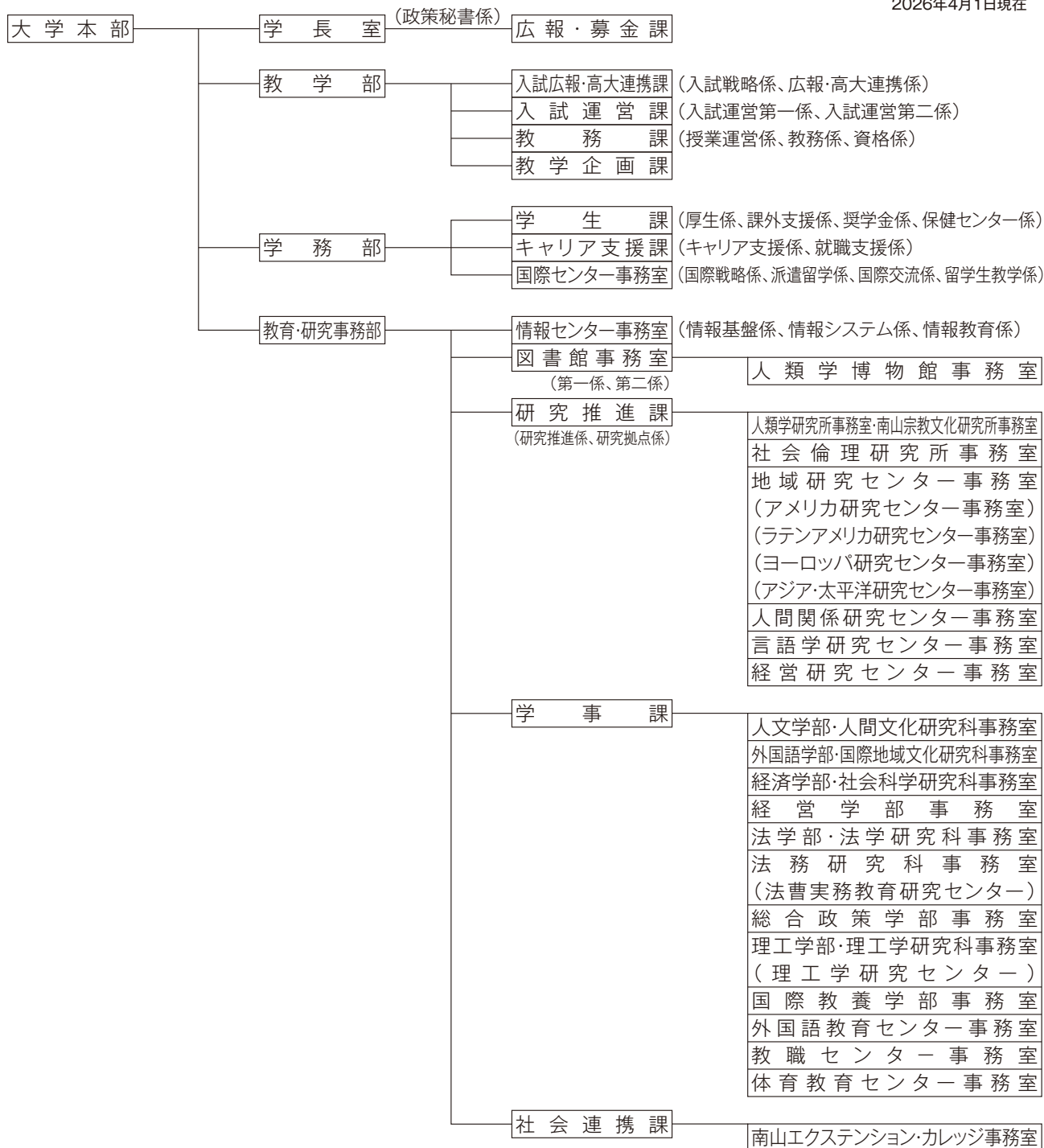
2000. 4 文学部仏語学仏文学科を外国語学部フランス学科に改組
文学部独語学独文学科を外国語学部ドイツ学科に改組
外国語学部英米科を外国語学部英米学科に名称変更
外国語学部イスパニヤ科を外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科に名称変更
外国語学部アジア学科を設置
人間関係研究センターを設置
◇瀬戸キャンパス(2017年3月閉鎖)
総合政策学部総合政策学科を設置
数理情報学部情報通信学科と数理科学科を設置
2002. 4 名古屋キャンパスに南山エクステンション・カレッジ開設
2003. 4 名古屋キャンパスに言語学研究センターおよびアジア研究センターを設置
2004. 4 ◇名古屋キャンパス
法務研究科(法科大学院)法務専攻専門職学位課程を設置
人間文化研究科キリスト教思想専攻修士課程、人類学専攻修士課程、教育ファシリテーション専攻修士課程、言語科学専攻修士課程を設置
国際地域文化研究科国際地域文化専攻修士課程を設置
◇瀬戸キャンパス
総合政策研究科総合政策専攻修士課程を設置
数理情報研究科数理情報専攻博士前期課程および博士後期課程を設置
◇サテライトキャンパスを設置(2010年3月閉鎖)
2005. 4 ◇名古屋キャンパス
オーストラリア研究センターとアジア研究センターを統合し、アジア・太平洋研究センターを設置
◇サテライトキャンパス
数理情報研究センターを設置
2006. 4 ◇名古屋キャンパス
経営学研究科をビジネス研究科に名称変更
ビジネス研究科にビジネス専攻専門職学位課程を増設
人間文化研究科に宗教思想専攻博士後期課程、人類学専攻博士後期課程、言語科学専攻博士後期課程を増設
◇瀬戸キャンパス
数理情報学部数理科学科を情報システム数理学科に名称変更
総合政策研究科に総合政策専攻博士課程を増設
2007. 4 ◇名古屋キャンパス
英語教育センターを設置
法曹実務教育研究センターおよびリーガルクリニックを設置
◇瀬戸キャンパス
数理情報研究センターを瀬戸キャンパスに移転
2008. 4 南山大学附属小学校を開校
2009. 4 ◇瀬戸キャンパス
数理情報学部を情報理工学部に変更
数理情報学部情報通信学科および情報システム数理学科を情報理工学部ソフトウェア工学科、システム創成工学科および情報システム数理学科に改組
2011. 4 ◇名古屋キャンパス
南山短期大学を南山大学短期大学部に名称変更し、名古屋キャンパスに移転(2020年3月廃止)
2011. 4 国際地域文化研究科国際地域文化専攻修士課程を博士前期課程へ課程変更
国際地域文化研究科に国際地域文化専攻博士後期課程を増設
コミュニティカレッジ公開講座を南山エクステンション・カレッジに統合
2013. 4 ◇名古屋キャンパス
教職センターを設置
◇瀬戸キャンパス
理工学研究科システム数理専攻博士前期課程、ソフトウェア工学専攻博士前期課程、機械電子制御工学専攻博士前期課程を設置
2014. 4 ◇名古屋キャンパス
社会科学研究科経済学専攻博士前期課程、経営学専攻博士前期課程を設置
将来構想推進室を設置
◇瀬戸キャンパス
社会科学研究科総合政策学専攻博士前期課程を設置
情報理工学部を理工学部に変更
情報理工学部システム創成工学科および情報システム数理学科を理工学部機械電子制御工学科、システム数理学科に変更
数理情報研究センターを理工学研究センターに変更
2015. 4 ◇名古屋キャンパス
理工学部を名古屋キャンパスに移転
理工学研究科・数理情報研究科を名古屋キャンパスに移転
理工学研究センターを名古屋キャンパスに移転
理工学研究科にシステム数理専攻博士後期課程、ソフトウェア工学専攻博士後期課程、機械電子制御工学専攻博士後期課程を増設
9 コンプライアンス室を設置
2016. 4 学校法人南山学園と学校法人聖園学院が合併
◇名古屋キャンパス
社会科学研究科に経済学専攻博士後期課程・経営学専攻博士後期課程を増設
情報センター、IR推進室を設置
◇瀬戸キャンパス
社会科学研究科に総合政策学専攻博士後期課程を増設
2017. 4 全学部・全学科を名古屋キャンパスに統合
総合政策学部を名古屋キャンパスに移転
社会科学研究科総合政策学専攻を名古屋キャンパスに移転
国際教養学部(国際教養学科)を設置
国際センター、外国語教育センター、体育教育センター、保健センター、キリスト教センターを設置
2019. 4 法学研究科法律学専攻博士前期課程および博士後期課程を設置
2021. 4 理工学部システム数理学科、機械電子制御工学科をデータサイエンス学科、電子情報工学科、機械システム工学科に改組
2023. 4 理工学研究科にデータサイエンス専攻博士前期課程を設置
図書館をライネルス中央図書館に変更
2025. 4 理工学研究科に電子情報工学専攻博士前期課程、機械システム工学専攻博士前期課程、データサイエンス専攻博士後期課程、機械電子制御工学専攻博士後期課程を設置
入学センター、グローバル戦略センターを設置

南山大学の教育・研究組織図



南山学園事務局組織図(大学本部のみ)

2026年4月1日現在



南山大学の役職者（2026年度）

	学 長	KISALA, Robert
	副学長(総務担当・将来構想担当)	岡田 悦典
	副学長(学務担当)	久村 恵子
	副学長(研究推進担当・教育支援担当)	奥田 太郎
	副学長(国際担当・ダイバーシティ担当)	川浦佐知子
人文学部	学部長	松根 伸治
	キリスト教学科長	井上 淳
	人類文化学科長	坂下 浩司
	心理人間学科長	西脇 良
	日本文化学科長	辻本 裕成
外国語学部	学部長	花木 亨
	英米学科長	今井 隆夫
	スペイン・ラテンアメリカ学科長	永田 智成
	フランス学科長	小林 純子
	ドイツ学科長	中屋 宏隆
	アジア学科長	稲垣 和也
経済学部	学部長	林 尚志
	経済学科長	宮崎 浩伸
経営学部	学部長	石垣 智徳
	経営学科長	竹澤 直哉
法学部	学部長	豊島 明子
	法律学科長	菅原 真
総合政策学部	学部長	石川 良文
	総合政策学科長	大八木英夫
理工学部	学部長	松田 眞一
	ソフトウェア工学科長	名倉 正剛
	データサイエンス学科長 (システム数理学科長)	小市 俊悟
	電子情報工学科長	横山 哲郎
	機械システム工学科長 (機械電子制御工学科長)	陳 幹
国際教養学部	学部長	森泉 哲
	国際教養学科長	神崎 宣次
教務部長		南川 和充
学生部長		三輪まどか
図書館長		太田 達也
国際センター長		O'CONNELL, Sean
情報センター長		吉田 敦
研究所総合委員会委員長		渡部 森哉
外国語教育センター長		茂木 良治
教職センター長		小林 整次
体育教育センター長		金 興烈
保健センター長		星野 昌裕
人類学博物館長		奥田 太郎
キリスト教センター長		MUNSI, Roger Vanzila
IR推進室長		池田 満
指導司祭		KUCICKI, Janusz MANGGA, Stephanus DANCAR, Aleksander

1

基本事項

基本事項

学生証
学生番号
指導教員
メンバーシップ契約

窓口・Webページ案内

学生生活窓口
在学生向けWebページ「在学生の皆様」
無線LAN接続
PORTA(ポータルサイト)
各種取扱窓口

掲示板

公示・掲示・学生用掲示板

各種証明書の発行

証明書等の交付願と手数料

授業・試験

授業と試験
追試験
成績発表および成績疑問調査
卒業

学籍

休学
復学
退学
再入学

学生納入金

学生納入金
納入についての注意
延納
「1科目登録者」としての減免について
休学中の学生納入金と在籍料について
高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金)について

奨学金等

奨学金
教育ローン

通学

学割証
定期券
自動車通学
自動二輪車(原付を含む)・自転車通学
通学マナー

学生ロッカー・学生セミナー室

学生ロッカー
学生セミナー室

学生証

学生証は南山大学の学生であることを証明するものです。いつでも提示できるように常に携帯してください。

●提示の必要なとき

1. 在学証明書や学業成績証明書、学割証などの各種証明書の交付を受けるとき(P.20参照)
2. 通学定期券を購入するとき
3. 図書館を利用するとき
4. 定期試験を受けるとき
5. 本学教職員から提示を求められたとき

●有効期限 入学から最短修業年まで(以降年度更新)

●学生証再交付の条件

次の場合は、直ちに再交付の手続きをしてください。

1. 盗難にあったとき、紛失したとき
2. 著しく汚損したとき
3. 磁気が反応しなくなったとき
4. 改姓名等、記載事項の変更があったとき

●再交付に必要なもの

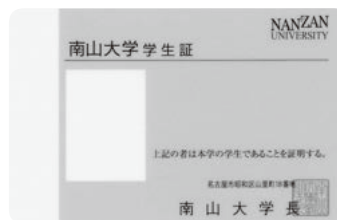
手数料1,000円(改姓名、磁気劣化の場合は不要)

●学生証の返還・交換

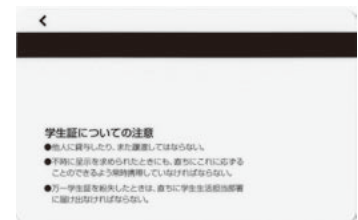
次の場合は、学生証を返還または交換してください。

1. 退学するとき(返還)
2. 転部または転科あるいは転専攻の許可があったとき(交換)
3. 有効期限が切れたとき(交換)
4. その他、学生の身分を失ったとき(返還)

※盗難にあったときは、悪用される恐れがありますので最寄りの警察署・交番に届け出てください。



学生証おもて



学生証うら

学生番号

●学生番号の形態

学生番号は、各種事務処理、各種証明書の交付、試験の答案用紙に記入する等、個人を識別する大切な番号です。



学部学科毎のアルファベット、個人番号の内訳は、右のとおりです。

人文学部	キリスト教学科	HC001~
	人類文化学科	HA001~
	心理人間学科	HP001~
	日本文化学科	HJ001~
外国語学部	英米学科	FB001~
	スペイン・ラテンアメリカ学科	FS001~
	フランス学科	FF001~
	ドイツ学科	FG001~
	アジア学科	FA001~
経済学部	経済学科	EE001~
経営学部	経営学科	BB001~
法学部	法律学科	JJ001~
総合政策学部	総合政策学科	PP001~
総合政策学部(秋学期入学生)	総合政策学科	PP701~
理工学部	ソフトウェア工学科	TS001~
	データサイエンス学科	TD001~
	電子情報工学科	TC001~
	機械システム工学科	TM001~
国際教養学部	国際教養学科	GG001~

指導教員

学生の皆さんには指導教員が1名つきます。

学業、学生納入金、奨学金、休・退学等、学生の皆さんが抱える様々な問題についてアドバイスします。遠慮せず相談してください。

なお、自分の指導教員が分からない場合は、PORTA(ポータルサイト)の学生メニュー>個人情報管理>指導教員情報参照で確認できます。

メンバーシップ契約

南山大学では以下の機関とメンバーシップ契約を結んでいます。学生証を提示することにより、無料で入館できます。

- ・徳川美術館・蓬左文庫(メンバーシップ会員)
名古屋市東区徳川町1017(市バス「徳川園 新出来」より徒歩約3分)
- ・名古屋市博物館(パートナーシップ会員)
名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1(地下鉄桜通線「桜山」より徒歩5分)
- ・名古屋市美術館(学生メンバーズ)
名古屋市中区栄2-17-25(芸術と科学の杜・白川公園内)

学生生活窓口

窓口取扱時間

月～金 9:00～17:00

※土曜日の窓口事務取扱いについては各窓口において開室日を確認してください。

開門	閉門			
	正門	西門	東門	北西門
7:00	24:00	23:15	23:15	21:00

●各種窓口

事務室	場所	内容
学生課	C棟2階	休学、退学、学生納入金、奨学金、学生専用マンション、盗難、課外活動、保険
教務課	C棟3階	授業、試験、履修登録
国際センター事務室	R棟2階	留学サポート、国際学生宿舎、留学生サポート、留学生との交流
キャリア支援課	Q棟2階	就職、インターンシップ、キャリアサポートプログラム
保健センター	D棟1階	健康診断、健康相談、応急処置、学生相談、大学生生活支援・合理的配慮支援
情報センター事務室	S棟3階	アカウント利用停止解除申請
総合受付	正門	遺失物の預り、鍵の貸出

●学部事務室

事務室	場所
人文学部事務室	第1研究室棟3階
外国語学部事務室	L棟6階
経済学部事務室	J棟6階
経営学部事務室	J棟8階
法学部事務室	A棟1階
総合政策学部事務室	Q棟5階
理工学部事務室	S棟1階
国際教養学部事務室	Q棟7階

在学生向けWebページ「在学生の皆様」

課外活動、奨学金、留学、授業、就職など学生生活に欠かせない情報を南山大学Webページ「在学生の皆様」より提供しています。

 南山大学 Webページ▶在学生の皆様

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/gakusei.html>



項目	内容
学生生活	学生納入金、学籍・身上異動、奨学金、課外活動、保健センター
教務案内(教務課)	休講、補講、教室変更、履修登録、時間割等
留学・国際交流	留学制度、留学関連奨学金、国際交流イベント、国際学生宿舎、留学生サポート
キャリア支援	就職支援・キャリアサポートプログラム、インターンシップ、就職・進路データ、学外イベント、窓口案内等
情報センター	利用ガイド、施設ガイド、ネットワークプリントサービス、パスワード変更、学外電子メールアドレス登録等

無線LAN接続

学内では無線LANサービスを提供しています。

AXIAアカウントによるユーザ認証を受けることで事前申請なく利用できます。

利用の詳細については「情報センター」Webページでご確認ください。

<https://office-a.nanzan-u.ac.jp/ocict/userguide/s-network.html>



PORTA(ポータルサイト)

南山大学の学生はPORTA(ポータルシステム)から、必要な情報を取得し、履修登録や住所変更など様々な手続きを行うことができます。

大学から自宅に資料を送付することもありますので、本人・保証人の住所が変更になった場合は必ずPORTAでそれぞれの情報を変更してください。

 南山大学Webページ▶在学生の皆様▶学内システム▶PORTA


PORTAの利用の仕方については、P.14～P.15に記載していますので、参照してください。

PORTA (ポータルサイト)

PORTA (ラテン語で門や入り口を表す)は、学生のための情報提供システムで、学生用システム(PORTA学生メニュー)の入り口にもなっています。学生はPORTAを利用して、以下の各機能を利用できます。

メニュー	機能概要
あなたへの連絡	あなた個人への事務連絡
お知らせ	学生の皆さんへのお知らせ
My Profile	個人情報の参照/変更
今日のスケジュール	個人スケジュールの管理
教務関連	履修登録/変更、時間割表の参照、休講/補講/教室変更情報(直近7日間)等の照会
保健関連	健康診断結果の照会
学生関連	個人情報の参照/変更、指導教員情報等の照会
キャリア支援関連	進路希望調査回答、求人情報、就職活動体験記等の参照、キャリアイベントの申込
FAQ	各課室FAQの参照
アンケート	アンケート回答、イベントの申込
マニュアル	PORTAガイドおよび操作マニュアルの参照

● 利用上の注意事項

- ・大学からのお知らせは、PORTAによって行われ、全体への「お知らせ」と、特定学生への「あなたへの連絡」があります。特に「あなたへの連絡」は緊急度の高いお知らせですので、必ず内容を確認し指示に従ってください。なお、PORTAのお知らせを読まなかったことによる不利益はご自身の責任となりますので、頻繁に確認する習慣を身につけてください。
- ・PORTAは、インターネットを介して学内および学外のネットワークから利用することが可能です。
- ・PORTAを利用するには、AXIA (南山大学情報ネットワークシステム)のアカウントとパスワードが必要です。
- ・学外ネットワークから履修登録等重要な更新を行う場合には、別途「Can@home」の利用申請が必要です。(P.15参照)
- ・他人にAXIAのアカウントとパスワードを絶対に教えないでください。
- ・利用できるブラウザについては、ログイン画面の注意文を確認してください。
- ・PORTA使用中は、ブラウザの [戻る] ボタン  は使用しないでください。

● ログイン

- ・ブラウザを起動し、南山大学Webページ > 在学生の皆様 > 学内システム > PORTA (ポータルシステム) 学内専用をクリックしてください。
- ・URL (https://porta.nanzan-u.ac.jp/) から、直接ログイン画面にアクセスすることも可能です。

〈PORTAログイン画面〉

【PC画面】



【スマートフォン画面】



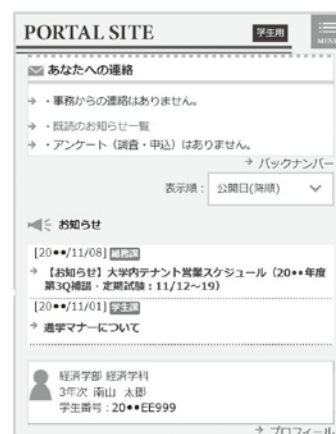
・AXIAのアカウントとパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックすると、学生トップページが表示されます。

〈学生トップページの画面例〉

【PC画面】



【スマートフォン画面】



〈学生メニューの画面例〉

【PC画面】



【スマートフォン画面】



● ログアウト

- ・作業が完了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて終了してください。(PORTA以外のWebページを閲覧していたウィンドウもすべて閉じる必要があります。)
- ・共有PCでは、短時間でも席を離れる場合は、必ずブラウザを閉じてログアウトしてください。

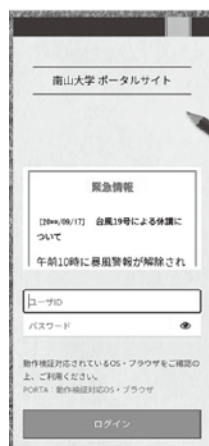
● 緊急情報

- ・大学からの緊急情報は、PORTAのログイン画面に表示されます。

【PC画面】



【スマートフォン画面】



● 学外からの利用

- ・学外のネットワークからPORTAを利用するサービスを「Can@home」と呼び、別途利用申請が必要です。
- ・メニューに★がある機能の更新処理を学外ネットワークから行う場合については、「Can@home」のワンタイムパスワードによる本人認証が必要となります。
- ・あらかじめPORTAに登録した学外の電子メールアドレス宛にワンタイムパスワードを送信し、そのパスワードを使うことで本人認証とします。
- ・「Can@home」の利用方法と注意事項を熟読し、遵守してください。

(<https://office-a.nanzan-u.ac.jp/ocit/userguide/canhome.html>)



なお、利用申請手順は以下の通りです。

- ①情報セキュリティに関する学習および理解度テストの受検
 - ・「Can@home」を利用するにあたって留意すべき情報セキュリティを正しく理解していただくため、eラーニング(WebClass)で学習した上で理解度テストを受検し、10点満点をとってください。
 - ・理解度テストに合格後1時間以内に、利用が可能となります。
- ②電子メールアドレスの登録・更新
 - ・大学内で無線LAN(SSID:00axia)に接続し、

[PORTA学生メニュー ⇒ 個人情報管理 ⇒ 連絡先情報照会/変更★] の連絡先メールアドレス、携帯電話メールアドレスのいずれかに南山大学以外のメールアドレスを登録してください。(初めて登録する場合は、学内ネットワークからの限定となりますのでご注意ください。)

 - ・連絡先メールアドレスを最新状態にしておくことで、「Can@home」のワンタイムパスワードが受け取れる他、万一AXIAアカウントが利用停止処分になった場合に、メールによる本人確認を行えることで、窓口に来ることなく利用停止解除申請が行えます。
- ③メール受信設定
 - ・登録したメールアドレスが南山大学(@nanzan-u.ac.jp)からのメールを受信できるよう設定してください。

● マニュアル等

- ・PORTA利用の詳細については、PORTA内からリンクしているPORTAガイドおよび各操作マニュアルを参照してください。

各種取扱窓口

●学籍関係

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
住所・電話番号を変更するとき	学生課	PORTA(ポータルサイト)の「学生メニュー」で各自変更する	—
改姓・改名があったとき		改姓・改名届を提出(発行後3ヵ月以内の戸籍抄本を添付)	—
保証人・緊急連絡先を変更するとき		保証人変更届・緊急連絡先変更届を提出	—
父母が死亡したとき		死亡届等を提出(弔慰金の支給があります)	—
休学するとき		休学願、保証人の理由書(病気等の場合、医師の診断書)等を提出	24
復学するとき		通知に従って必要な手続きを行う	24
退学するとき		退学願・保証人の理由書(病気等の場合、医師の診断書)を提出 学生証・貸与ノートPC(貸与PCを借りている場合)を返却	24
転部・転科	入試運営課	試験の問い合わせ	—
	教務課	単位認定についての問い合わせ	—

●学生納入金・奨学金について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
学生納入金全般について	学生課	納入時期等	25
学生納入金の延納をするとき		延納願を提出	26
減免を申請するとき		減免申請書を提出	26
学生納入金の口座変更をするとき		引落日の6週間前までにネット口座振替手続を行う	26
奨学金について		学生課窓口で相談またはWebページ「学生生活」参照	27

●学習全般・カリキュラムについて

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
授業・試験・各種単位認定について	教務課	履修登録等	21
追試験・成績発表および成績疑問調査について		追試験・成績疑問調査	22

●証明書について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
各種証明書について	各課室	一覧表を参照	20

●課外活動について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
課外活動全般について	学生課	課外活動の案内等	35
行事・合宿をするとき		集合・行事許可申請書を提出	36
クラブで印刷物を発行するとき		掲示・配布物発行申請書を提出	36
クラブで掲示をするとき		掲示・配布物発行申請書を提出	36
学生教育研究災害傷害保険の請求		学生教育研究災害傷害保険専用のLINEから事故受付の登録	41
事故にあったとき		負傷事故報告書を提出	41
入部・退部するとき		クラブを通じて入部・退部届を提出	—
幹部の交代をしたとき		クラブを通じて幹部交代届を提出	—

どの窓口かわからない事柄については、学生課でお尋ねください。

●留学・多文化交流について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
留学全般	国際センター 事務室	派遣留学・国際センター主催短期留学プログラムの案内等	33
国際学生宿舎について		入居案内等	33
留学に関する奨学金について		留学希望者対象奨学金の案内等	34
国際交流について		国際交流イベント、多文化交流ラウンジの案内等	33~34
留学からの帰国	学生課	留学帰国届を提出	—

●施設の利用について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
研修センター	学生課	研修センター合宿許可申請書を提出	58
キリスト教センター(ロゴスセンター)	キリスト教センター 事務室	講座への参加・施設利用申込・ミサ	54~55
伊勢海浜センター	NES南山大学店	使用申請書はNES南山大学店(コバン3階)に提出	58
南山学園研修センター	南山学園研修センター((株)エヌ・イー・エス)	Phone 052-835-0176	58

●ネットワーク関係について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
AXIA利用申請について	情報センター 事務室(※)	アカウント利用停止解除申請等	—
Can@home利用申請について		利用前にWebClassを用いて理解度確認テストの合格が必要 学外(自宅)から履修登録等が可能	—
WebClassの利用について		WebClassの利用に関する相談全般	—
貸与ノートPCに関する相談、紛失、盗難の届出	情報センター TA室	貸与ノートPCに関する相談全般	—
貸与ノートPCの故障		故障、修理受付	—
斡旋ノートPCに関する相談		斡旋ノートPCに関する相談全般	—

(※) 情報センターWebページを参照してください。

<https://office-a.nanzan-u.ac.jp/ocict/>



●その他

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
学生証の再交付	学生課	再交付手数料1,000円	12
通学定期券購入のための通学証明		JR、名鉄、近鉄、他社線連絡地下鉄など	28
学生専用マンション		入居案内等	32
民間のアパート・マンション案内		Webページ「学生生活」を閲覧	32
アルバイト		Webページ「学生生活」より閲覧、 家庭教師アルバイトについてはPORTAへのお知らせの掲出 およびC棟2階学生課掲示板に掲示	32
盗難	総合受付	盗難・紛失届を提出	46
落し物について		受取の際は学生証を持参のこと	46
学割証の発行	C棟3階ロビー	証明書自動発行機で発行(設置場所はP.20を参照)	28

●外国人留学生のみを対象とした各種手続きについて

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
奨学金	国際センター 事務室	外国人留学生対象奨学金	34
アルバイト		資格外活動許可申請にかかる届出の案内等	32
在留期間更新		在留期間更新許可申請の案内等	—
国際学生宿舎、留学生宿舎		入居手続き、奨学寮案内等	33
大学による在留管理		在籍確認・国際交流ミーティング・在留確認の実施	—

●よくある質問

Q 体調不良によって授業を欠席する場合、大学に連絡は必要ですか。

A 基本的に欠席の連絡は不要です（講義担当教員からあらかじめ指示があった場合を除く）。講義によっては、欠席した回の資料等がもらえることもありますので、次に出席した際に直接教員へご相談ください。

Q インフルエンザ・新型コロナウイルスに感染した場合はどうすればよいですか。

A 一般的に熱が下がっても、しばらくはウイルスの感染力が残っているため、他の人に感染させる可能性があります。登校については、かかりつけの医師による指示にしたがってください。授業を欠席した場合は、後日、授業担当教員に欠席理由を報告してください。欠席が考慮されるかどうかは、授業担当教員の判断になります。（P.40も参照してください。）

Q 親族が亡くなったときは忌引きの扱いになりますか。

A 本学には、公欠制度はありませんので、授業担当教員に個別に報告し、対応を相談してください。欠席が考慮されるかどうかは、授業担当教員の判断になります。

Q 証明書の自動発行機はどこにありますか。

A C棟3階ロビーにあります。稼働時間は、月～日の8:00～22:00です。
※大学行事やメンテナンスに伴い、対応曜日や時間に変更になることがあります。最新の情報は教務課Webページをご確認ください。

Q 証紙券売機の利用可能時間を教えてください。

A C棟3階ロビーとR棟2階にあります。稼働時間は、月～金の9:00～17:00です。
※教務課および国際センターの窓口閉室日は原則、利用できません。

Q 学生食堂以外に昼食をとる場所はありますか。

A 12:45～13:25の時間帯は、S21、S22、B11、B31、DB1、G25、G26、G27、G28、G30教室を昼食場所として開放しています。

Q 住所・電話番号を変更したいときはどうすればよいですか。

A PORTAの「学生メニュー」より各自で変更してください。なお、保証人と同居している方で、住所変更がある場合は、保証人の住所も必ず変更してください。

Q 学割証はどこで発行できますか。

A 学生証を持参の上、C棟3階の証明書自動発行機で発行してください。

Q 通学証明シールはどこで発行できますか。

A 学生課で発行します。

Q AXIAのアカウントが利用停止になった場合はどうすればよいですか。

A 情報センターWebページに従い、利用停止解除の申請を行ってください。

Q 学内のプリンターで印刷したいのですが、ポイントはどのように追加すればいいですか。

A Q棟2階ラーニング・commons、S棟2階ロッカースペース、第2研究室棟1階ロビーにあるコインキットで課金してください。

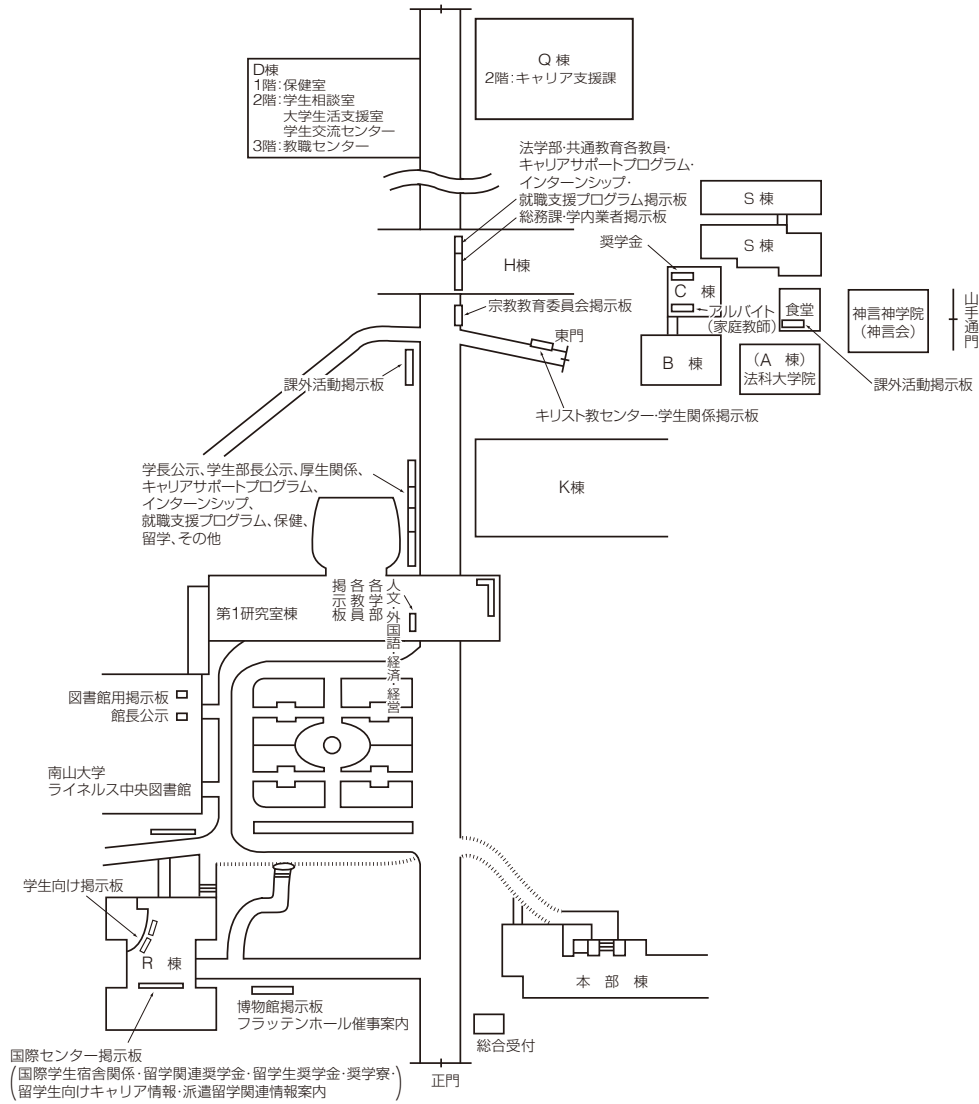
Q 学生相談室の相談は有料ですか。

A 本学の在学生（その関係者）であれば、保健センター・学生相談室を利用できます。その際の相談は「無料」です。人間関係やこころの問題などで相談をしたいと思ったときに、自由に話せるところです（秘密は守ります）。相談予約は、D棟1階保健センター・保健室にて受け付けています。

公示・掲示・学生用掲示板

学生の皆さんへの重要事項の伝達は、PORTA、Webページまたは掲示板によって行います。
また、昼休み、授業の前後の学内放送による連絡にも注意してください。

● 掲示板配置図



● 掲示板

公示・掲示の種類	掲示版の位置
学長・学生部長公示・学生納入金・キャリアサポートプログラム・インターンシップ・就職支援プログラム・留学・国際学生宿舍・保健・その他厚生関係の掲示	第1研究室棟下北側(メインストリート沿い)
休講・補講・集中講義・各種ガイダンス・連絡事項・その他教務関係の掲示	教務課Webページ、教職センターWebページ、C棟3階ロビー
各学部・教員からの連絡事項	第1研究室棟下西側、H教室棟下、B棟下、R棟北側
奨学金・アルバイト(家庭教師)・その他各種ポスター	C棟2階、C棟階段踊り場
キャリアサポートプログラム・インターンシップ・就職支援プログラム関係の掲示	Q棟2階キャリア支援課、H棟西側(メインストリート沿い)
図書館関係の公示・掲示	1階エントランスラウンジ内
課外活動・その他学生用掲示	L棟南側ガラス掲示版、S棟食堂階段踊り場
体育会・文化会・学生交流センター専用掲示	L棟南側ガラス掲示版
留学生関連学生生活・国際学生宿舍・留学生奨学金関係・留学生向けキャリア情報・その他の掲示	R棟国際センター事務室
派遣留学・国際センター主催短期留学プログラム・海外留学奨学金関係の掲示	R棟国際センター事務室
学内業者(食堂・テナント)関係の掲示	H棟西側(メインストリート沿い)
キリスト教センター・学生関係の掲示	ロコスセンター南側

各種証明書の発行

証明書等の交付願と手数料

各種証明書は、証明書自動発行機で発行するか、取扱窓口で申し込んでください。各種取扱手数料については、以下を参照してください。

大学行事やメンテナンスに伴い、対応曜日や時間が変更になることがあります。最新の情報は学生課および教務課Webページを確認してください。

●証紙券売機運用時間

C棟3階ロビー	月～金 9:00～17:00
R棟2階	月～金 9:00～17:00

●証明書自動発行機運用時間

C棟3階ロビー	月～日 8:00～22:00
---------	----------------

証明書自動発行機

種類	料金	取扱	備考
在学証明書(和文・欧文*)	200円	証明書自動発行機	卒業後は、証明書自動発行機での発行は不可
卒業見込証明書(和文・欧文*)	200円		
学業成績証明書(和文)	200円		
学業成績証明書(欧文*)	500円		
健康診断証明書 ※1	200円		
学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)	無料		
			卒業後は発行不可

窓口発行

種類	料金	取扱	備考
卒業証明書(和文・欧文*)	200円	教務課	証紙券売機で証紙を購入し 申請用紙に貼付
単位修得証明書(和文)	200円		
単位修得証明書(欧文*)	500円		
単位修得見込証明書	200円		
留学成績証明書(和文・欧文*) ※2	無料		
国際科目群証明書(和文・欧文*) ※2	無料		
在学期間証明書(和文・英文*)	200円		
満期退学証明書(和文・欧文*)	200円		
副領域履修証明書(和文・欧文*) ※3	200円		
受験調査書	500円		
教員免許状取得見込証明書	200円		
学力に関する証明書(教免用)	200円		
学芸員資格証明書	200円		
司書講習修了証明書	200円		
学芸員資格取得見込証明書	200円		
学校図書館司書教諭資格取得見込証明書	200円		
司書講習修了見込証明書	200円		
単位修得証明書(資格用)	200円		
日本語教員養成プログラム修了証明書	200円		

その他手数料など

種類	料金	取扱	備考
追試験手数料	500円/1科目	教務課	証紙券売機で証紙を購入し 申請用紙に貼付
学生証再交付手数料	1,000円	学生課	
通学証明シール(通学定期券発行用)	無料		

*欧文とは原則英文を指します。

(和文・英文以外の証明書の作成については、教務課にお問い合わせください)

※1 健康診断証明書(英文)の作成については、学校医面談等を行うため、事前に保健センター・保健室に予約をしてください(1通200円)。なお、検査項目により病院受診が必要になる場合があります。

※2 学業成績証明書と一緒に申し込みしてください。

※3 発行は人間文化研究科人類学専攻・言語科学専攻に限ります。



証明書自動発行機



証紙券売機

授業と試験

本学ではクォーター制を導入しています。
年度により日程に多少の差は生じますが、各クォーターの授業期間はおよそ以下のようになります。

春学期	第1クォーター	4月上旬～6月上旬
	第2クォーター	6月上旬～7月下旬
秋学期	第3クォーター	9月中旬～11月上旬
	第4クォーター	11月中旬～1月下旬

授業時間帯は次のとおりです。

1時限	9:10～10:50
2時限	11:05～12:45
3時限	13:35～15:15
4時限	15:30～17:10
5時限	17:25～19:05

試験時間は次のとおりです。授業時間とは異なり、原則として1時限50分(ただし、理工学部科目は80分)ですが、科目によってはそれ以外の時間で試験を実施する場合があります。

1時限	9:20～10:10(50分)	
2時限	10:35～11:25(50分)	
3時限	11:50～12:40(50分)	11:50～13:10(80分)
4時限	13:40～14:30(50分)	
5時限	14:55～15:45(50分)	14:55～16:15(80分)
6時限	16:40～17:30(50分)	16:40～18:00(80分)
7時限	18:40～20:00(80分)	

● 授業科目の履修

1. 学業の成果は、修得単位数と成績評価で表されます。
2. 単位を修得するには、あらかじめ履修登録が必要です。
3. 履修科目の変更や追加は、所定の登録期間中しか認められません。
4. 所定の単位数を修得しなければ、4年間で学んでも卒業できません。

● 定期試験

1. 毎クォーター授業日程の終了後に行われます。
2. 単位修得には、定期試験を必ず受けなければなりません。
ただし、レポート等をもって試験に代える場合があります。
3. 集中講義の場合は、その講義の終了後の試験を必ず受けてください。
4. 定期試験の時間割表は、定期試験開始日の7日前までにPORTAの「試験時間割表」で発表します。土曜日や試験予備日にも試験が入る可能性があります。必ずPORTAを確認してください。
5. 試験場では、必ず学生証を机の上に提示してください。
試験当日学生証を忘れた場合は、学生課で「定期試験受験資格証明書」の交付を受けて受験してください。
6. 答案には学部、学科、学生番号、氏名を記入してください。
無記名の答案は、無効扱いになります。
7. 遅刻が認められるのは、試験開始後15分以内です。開始後25分間は退出できません。
8. 試験中の不正行為および不正行為と思われるまぎらわしい行為は、絶対行わないでください。不正行為と判断された場合は、懲戒処分とします。追試験も同様です。

(学生生活(学生課)Webページ「南山大学における試験の不正行為に対する懲戒内規」参照)
その他、試験場では、監督者の指示に従ってください。

● 出・欠席

1. 名古屋市営交通機関のストライキ、および「南山大学課外活動取扱要項第16条」による授業欠席の特別配慮を除き、どのような欠席も認められません。
2. 「南山大学授業科目履修規程第16条」により、欠席過多を適用する科目の欠席時数がその科目の授業総時数の3分の1を超えた場合、履修成績評価が「欠席過多(S)」による不合格となり、単位は与えられません。
3. 欠席過多については、履修要項あるいは講義概要等も参照してください。
4. 欠席過多についての異議申し立ては、南山大学授業科目履修規程第21条「履修成績評価の疑問調査」により行ってください。

● 休講・補講等

休講・補講等はPORTAまたは教務課Webページで確認してください。

追試験

やむを得ない理由により、定期試験等を受験できない場合、当該授業科目の追試験を申請することができます。

● やむを得ない理由

天災、交通事故、病気、教育実習、介護等体験、裁判員制度に基づく裁判員等の職務、就職試験、大学院入学試験、家族の死亡・危篤、交通機関の遅滞、大学が認めた研修、大学行事など

● 追試験の申請および受験手続き

1. 追試験の申請および受験手続きについては、定期試験時間割発表時に *PORTA*にてお知らせします。
2. 定期試験の追試験については、各クォーターの所定の期日までに、右表の証明書を添えて、追試験受験願を提出してください。集中講義や隔週開講などの授業科目については、当該試験日の翌日から数えて3日目(日曜、祝日および事務休業日を除く)までです。
3. 追試験を許可された学生は、所定の期間に受験手続(受験手数料として1科目500円の納入)をしてください。
4. 追試験の成績は、1割減点となります。

5. 教育実習、介護等体験、就業実践研修Ⅱ、愛知学長懇話会単位互換事業、豊田工業大学等との単位互換事業による他大学開講科目の定期試験受験、裁判員制度に基づく裁判員などの職務のために欠席した場合、受験手数料と成績の1割減点が免除されます。
6. 定期試験に代わるレポート提出が不可能な場合も追試験受験願を提出してください。その他詳細については「南山大学試験規程」の第3章を参照してください。

欠席理由	提出証明書の例
天災	罹災証明書
交通事故	事故証明書
交通機関の遅延	遅延証明書
病気	医師の診断書
就職試験	企業の受験証明書
その他やむを得ない場合	理由書等

窓口 教務課

詳細は毎クォーターの *PORTA*の案内を確認してください。

成績発表および成績疑問調査

成績発表は年2回です。

第1クォーター、第2クォーター、春学期開講の授業科目の成績発表は9月、第3クォーター、第4クォーター、秋学期、通年開講の授業科目の成績発表は3月です。

なお、授業科目履修規程第21条により、発表された成績について、次のケースにおいては成績疑問調査を申請することができます。

- ・ 授業に出席していたにもかかわらず成績が「S」(欠席過

多)となっている。

- ・ 定期試験を受験した・レポートを提出したにもかかわらず成績が「X」(試験欠席)となっている。
- ・ 成績評価について、疑問がある(ただし、疑問点について根拠が明確であること)。

申請期間は原則、成績発表日から1週間以内ですが、休日等により締切日が変動する場合がありますため、締切日は必ず教務課Webページおよび *PORTA*で確認してください。

窓口 教務課

卒業



卒業式

●卒業および学位授与の条件

- ・南山大学学則第21条の条件を満たしていること。
- ・学部学科所定の単位については、南山大学学則第13条および各学部学科の履修要項(授業科目履修案内に掲載)を参照してください。
- ・3月に卒業できず、次年度春学期で上記の学位授与の条件を満たした場合は、9月卒業となります。ただし、春学期成績発表日までに「卒業・修了延期願(保証人と指導教員の署名、捺印が必要)」を提出することにより、卒業を3月に延長することができます。願い出・取り下げ、ともに指導教員に相談のうえ、教務課に申し出てください。秋学期入学者は在学期間が異なりますので、必要に応じて教務課へ確認してください。なお、卒業の延期が認められた場合も学生納入金(授業料、施設設備費/教育充実費、後援会費)は必要です。

●学位の種類

「学士」

学部卒業者に授与される学位は「学士」であり、卒業学部により以下の専攻分野名が付記されます。

人文学部	人文学	Bachelor of Arts in Humanities
外国語学部	外国研究	Bachelor of Arts in Foreign Studies
経済学部	経済学	Bachelor of Arts in Economics
経営学部	経営学	Bachelor of Arts in Business Administration
法学部	法学	Bachelor of Arts in Law
総合政策学部	総合政策学	Bachelor of Arts in Policy Studies
理工学部	理工学	Bachelor of Science in Science and Technology
国際教養学部	国際教養学	Bachelor of Arts in Global Liberal Studies

窓口 教務課、学生課

休学

休学とは病気、留学その他の理由で、長期にわたり大学の学業を離れることです。南山大学学則第28条(学生生活(学生課)Webページ参照)により休学の願い出をすることができます。指導教員・保証人と相談のうえ所定の手続きを行ってください。

休学すると自動的に卒業年度が延期されます。

●休学期間

1回の休学は1クォーター以上4クォーター以内(法学研究科・法務研究科の大学院生は1学期以上2学期以内)です。

●休学期間の上限(通算)

学部	通算4年
----	------

●休学の申請期限(2026年度)

学部	
第1クォーター休学	3月31日までに申請
第2クォーター休学	6月4日までに申請
第3クォーター休学	9月15日までに申請
第4クォーター休学	11月17日までに申請

※授業日の関係で毎年申請期限が違いますのでご注意ください。

●在籍料

休学期間中は、授業料等の学生納入金が全額免除されます。但し、在籍料として、1クォーターにつき25,000円の納入が必要です。

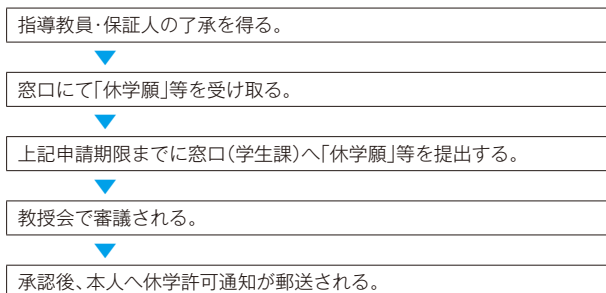
●提出書類

「休学願」「保証人の理由書」、「診断書(病気の場合)」
その他必要な書類については、学生課で確認してください。

●注意事項

- ・1年生の春学期からの休学は、特別な事由がない限り認められません。
- ・「1年間の休学」をする場合、通年科目の継続登録が可能な場合があります。詳しくは、休学前に教務課で確認してください。
- ・休学をする場合、申請期限までに所定の手続きを行わないとそのまま在学扱いとなり、学生納入金(P.25参照)の納入が必要です。

●手続きの流れ



復学

休学期間が終了すると、大学より休学期間終了通知および復学に必要な諸手続きに関する通知を送付します。同通知書に従って必要な手続きを行ってください。

退学

病気その他の理由により、やむを得ず退学する場合は、南山大学学則第30条(学生生活(学生課)Webページ参照)により退学を願い出ることができます。指導教員・保証人の了承を得たうえで、所定の手続きを行ってください。

退学の日付は、申請した各クォーター末日となります。

また、南山大学学則第31条、第34条および南山大学授業科目履修規程第27条(学生生活(学生課)Webページ参照)に該当する場合、退学を命ずることがあります。

●退学の申請期限(2026年度)

学部	
第1クォーター末退学	6月4日までに申請
第2クォーター末退学	9月15日までに申請
第3クォーター末退学	11月17日までに申請
第4クォーター末退学	3月31日までに申請

※授業日の関係で毎年申請期限が違いますのでご注意ください。

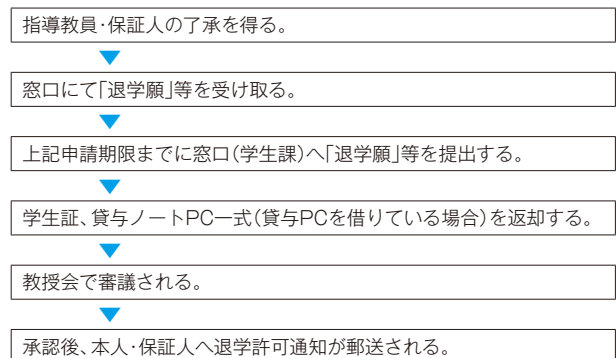
●提出書類

「退学願」「保証人の理由書」、「診断書(病気の場合)」

●注意事項

退学をする場合、申請期限までに所定の手続きを行わないとそのまま在籍扱いとなり、学生納入金(P.25参照)の納入が必要です。

●手続きの流れ



再入学

退学者は、再入学を志願することができます。再入学に関しては、南山大学学則第26条および南山大学学生懲戒規程第12条(学生生活(学生課)Webページ参照)に定められています。

学生納入金 (一旦納入された納入金は返還しません。)

- ・学生納入金の納入方法は1年次の入学手続き金を除き各自が登録した口座からの引落としです。
- ・引落日(右記のとおり)は、案内はがきでもお知らせします。引落日の前日までに必ず入金を済ませておいてください。引落日当日に入金された場合、引落としができないことがあります。
- ・1クォーターあたりの金額は各学期の半額です。

学期	引落日
春学期	4月13日(月)
秋学期	9月28日(月)

(単位 円)

人文学部・ 外国語学部・ 経済学部・経営学部・法学部・ 総合政策学部(春学期入学者)・ 国際教養学部	年度生	徴収期	授業料	施設設備費/ 教育充実費	後援会費	同窓会費	合計
	2015~2020	春学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000
秋学期		359,000	105,000	10,000	0	474,000	
2021~2022	春学期	375,000	120,000	10,000	0	505,000	
	秋学期	375,000	120,000	10,000	0	505,000	
2023~2025	春学期	375,000	120,000	10,000	3,500	508,500	
	秋学期	375,000	120,000	10,000	3,500	508,500	
2026	春学期	400,000	120,000	10,000	3,500	533,500	
	秋学期	400,000	120,000	10,000	3,500	533,500	

(単位 円)

総合政策学部 (秋学期入学者)	年度生	徴収期	授業料	施設設備費/ 教育充実費	後援会費	同窓会費	合計
	2014	春学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000
秋学期		359,000	105,000	10,000	0	474,000	
2015~2020	春学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000	
	秋学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000	
2021	春学期	375,000	120,000	10,000	0	505,000	
	秋学期	375,000	120,000	10,000	0	505,000	
2022	春学期	375,000	120,000	10,000	3,500	508,500	
	秋学期	375,000	120,000	10,000	0	505,000	
2023~2025	春学期	375,000	120,000	10,000	3,500	508,500	
	秋学期	375,000	120,000	10,000	3,500	508,500	
2026	秋学期	400,000	120,000	10,000	3,500	533,500	

(単位 円)

理工学部	年度生	徴収期	授業料	施設設備費/ 教育充実費	後援会費	同窓会費	合計
	2015~2020	春学期	409,000	105,000	10,000	0	524,000
秋学期		409,000	105,000	10,000	0	524,000	
2021~2022	春学期	375,000	170,000	10,000	0	555,000	
	秋学期	375,000	170,000	10,000	0	555,000	
2023~2025	春学期	375,000	170,000	10,000	3,500	558,500	
	秋学期	375,000	170,000	10,000	3,500	558,500	
2026	春学期	400,000	170,000	10,000	3,500	583,500	
	秋学期	400,000	170,000	10,000	3,500	583,500	

※休学、再入学、編入学・転入学、転部・転科等により取扱いが異なる場合がありますので、ご注意ください。
 ※高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金)の対象者は、納入時期・納入金額が異なります。
 詳細は、南山大学Webページ>在学生の皆様>学生生活>学費・奨学金>学生納入金についてをご覧ください。

納入についての注意

- ・学生納入金は、学期毎の納入となります(クォーター毎の納入ではありません)。
- ・引落しの口座を変更する場合は、速やかにネット口座振替手続きを行ってください。ただし変更を希望する学期引落日の6週間前までに口座変更の手続きを完了されない場合、翌学期からの口座変更となる場合があります。
- ・所定期日までに納入されなかった場合は、南山大学学則第31条により退学を命ずることがあります。
- ・1クォーター分のみの休学を申請した場合は、申請日によっては所定納入額全額が引落されることがあります。この場合、後日過納分を登録口座に返還します。

延納

延納：引落日までに納入が困難な場合は、延納が認められることがあります。

延納願提出期間の公示時期	
2026年度秋学期分	2026年7月
2027年度春学期分	2027年1月

延納希望者は、窓口またはWebページで「延納願」を入手し、保証人と連名で指導教員の承認を受け、「学納金公示」に記載された申請期間内に提出してください。

納入期限		
延納	2026年度 春学期分	7月24日(金)
	2026年度 秋学期分	1月25日(月)

「1科目登録者」としての減免について

1クォーターにつき1科目以内の履修登録をした学生は「1科目登録者」として授業料・施設設備費および後援会費の2分の1が減額されます。対象者は8学期(4年)まで在学した学生で9学期以降に1科目以内の履修登録をした学部生です。なお、この減免は一旦全額納入した後、該当金額が返還されます。学生納入金引落日には全額の納入が必要です。

休学中の学生納入金と在籍料について

休学者は、学生納入金が全額免除されます。ただし、休学申請時に在籍料として1クォーターにつき25,000円の納入が必要です。

高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金)について

南山大学は、2020年度からの高等教育の修学支援新制度について、機関要件の確認申請を行い、2019年9月20日付で、文部科学省より対象校として認定されました。

同制度に関しましては、申込制となっており、申込手続きを行わなければ支援を受けることはできません。同制度による支援を希望される場合は、説明会(毎年4月および9月に開催)への参加および申込手続きを行ってください。

● 支援内容

「授業料等の減免」および「給付型奨学金の支給」

	支援区分	給付奨学金		授業料等減免		授業料等減免(年額)	入学金減免(新入生のみ)
		自宅通学(月額)	自宅外通学(月額)	授業料減免(年額)	入学金減免(新入生のみ)		
多子世帯以外	第I区分	38,300円 (42,500円)	75,800円	700,000円	200,000円	700,000円	200,000円
	第II区分	25,600円 (28,400円)	50,600円	466,700円	133,400円		
	第III区分	12,800円 (14,200円)	25,300円	233,400円	66,700円		
	第IV区分(理工農系)	—	—	233,400円	66,700円		
	多子世帯	—	—	—	—		

給付期間	卒業までの最短修業年限(継続審査あり)	
対象	住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯および理工学部在籍する中間層世帯、または多子世帯の学生(学業基準および家計基準あり) ※家計急変時の採用もあります。 ※収入基準を満たすかどうかについては、「進学資金シミュレーター(日本学生支援機構Webページ)」で確認することができます。 https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/	

※給付奨学金について、生活保護世帯で自宅から通学する学生および児童養護施設などから通学する学生は()内の金額となります。

学生課で取り扱いをしている奨学金等の情報を以下の奨学金案内リーフレットにてご紹介しています。

https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/fees-and-scholarships/item/scholarships_leaflet.pdf



奨学金

南山大学独自の奨学金制度により学生生活をサポートします。留学に関する奨学金もありますので、P.34を参照してください。また、日本学生支援機構・地方公共団体および民間の奨学金も取り扱っています。

※各種奨学金制度は変更する場合がありますので、最新情報は学生生活Webページをご確認ください。

〈給付型〉

● 経済的に修学が困難な場合の奨学金

奨学金名	対象学年	金額	人数	備考
南山大学給付奨学金	全学年 毎年出願可能	30万円	50名	出願者の中から一定の成績を収めていることを条件として、経済的困窮度の高い学生を採用。 なお、同窓会給付奨学金については地域性も考慮する。
南山大学友の会給付奨学金	1年生		22名	
南山大学同窓会給付奨学金	2~4年生 毎年出願可能		30名	
南山大学創立50周年記念奨学金	全学年	第1種 70万円 第2種 35万円	第1種 2名 第2種 6名	前年度に、日本学生支援機構奨学金（緊急採用・応急採用）に推薦された学部学生、または南山大学随時奨学金を家計急変等により貸与された学部学生が対象。毎年、出願者の中から一定の成績を収めていることを条件として、経済的困窮度の高い学生を採用。

● 南山大学奨励奨学金（成績、スポーツ等の優秀者への奨学金）

奨学金名	金額	人数	備考
南山大学奨励奨学金（学業成績）	20万円	32名以内	学業成績優秀者より選考 ※出願不要
南山大学奨励奨学金（学術・文化・スポーツ） 個人	30万円	制限なし	学術・文化・スポーツ分野で特に顕著な成績を挙げた個人・団体より選考 ※出願不要
南山大学奨励奨学金（学術・文化・スポーツ） 団体・単年度	50万円		
南山大学奨励奨学金（学術・文化・スポーツ） 団体・複数年度	100万円または50万円	3団体以内	体育会または文化会所属団体の中から成績に応じ選考

● 民間奨学金制度・地方公共団体奨学金（貸与・給付）

榎山奨学財団、横山育英財団、大幸財団、三菱UFJ信託奨学財団、春秋育英会、中村積善会、スリーエス財団、松口奨学会、リンナイ奨学財団、岐阜県教育委員会など

〈貸与型〉

● 日本学生支援機構奨学金（毎年4月および9月に説明会実施）

奨学金名	金額	返還	備考
日本学生支援機構奨学金 第一種（無利子）	(月額) 自宅:2万、3万、4万、5万4千円より選択 (月額) 自宅外:2万、3万、4万、5万、6万4千円より選択 ※自宅外通学の人は自宅通学の月額も選択可能	卒業後に返還	経済困窮度・成績で選考 家計急変時の採用もあり
日本学生支援機構奨学金 第二種（有利子）	(月額) 2万、3万、4万、5万、6万、7万、8万、9万、10万、11万、12万円から選択		

● 南山大学随時奨学金（不測の事態に対応）

奨学金名	金額	人数	返還	備考
南山大学随時奨学金（有利子、ただし在学中は無利子）	授業料、教育充実費／施設設備費相当額	50名以内／学期	卒業時 または卒業後に返還	経済困窮度・成績で選考

教育ローン

● 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

入学時、在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。詳しくは、下記へお問い合わせください。

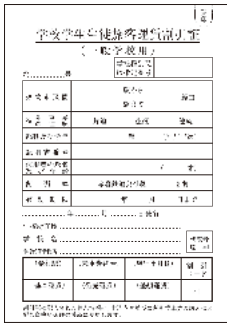
教育ローンコールセンター Phone 0570-008656

Phone 03-5321-8656

● 民間の提携教育ローン

詳しくは、学生生活Webページの「学費・奨学金」-「提携教育ローン」をご確認ください。

学割証



学生旅客運賃割引証(以下学割証という)の制度は、学生の権利として使用することを前提としたものではなく、学生の修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されているものです。学割証により普通運賃が2割引となります。

学割証は、旅客鉄道株式会社(JR)を利用して、片道100kmを

超える区間を以下の事由で旅行する場合に限り、使用が認められます。

●学割証の発行条件

1. 休暇、所用による帰省
2. 実験実習などの正課の教育活動
3. 大学が認めた特別教育活動または体育・文化に関する正課外の教育活動
4. 就職または進学のための受験等
5. 大学が修学上適当と認めた見学または行事への参加
6. 傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理
7. 保護者の旅行への随行

●学割証の発行場所

C棟3階の証明書自動発行機で発行してください(発行には学生証が必要です)。

●学割証使用についての注意

1. 学割証を携帯した本人に限り使用できます。
2. 有効期限は発行日より3ヵ月間です。

学割証を不正に使用した場合には、3倍の運賃が徴収されるほか、南山大学が学割証の発行停止の処分を受けるおそれもあります。他の学生に迷惑をかけることになりかねませんので、その使用については十分に注意してください。

不正使用例

1. 他人名義の学割証を使用して、乗車券を購入・使用する
2. 名義人が乗車券を購入して、他人に使用させる
3. 有効期限を過ぎた学割証で乗車券を購入・使用する
4. 学割証をコピーして使用する

団体旅客割引証

クラス・ゼミでの合宿・旅行、課外活動団体での合宿・遠征などでJR線を利用する場合、最大5割引となる割引制度があります。

●申込条件

1. 8名以上の団体であること
2. 本学の教員が引率すること
3. 発着駅が同じであること
4. 別途、集合・行事許可申請書を提出していること

●手続方法

1. 旅行会社(みどりの窓口等)で所定用紙を受け取る。
2. 所定用紙と共に、証明書等発行許可申請書および集合・行事許可申請書を学生課に提出して証明を受ける。
3. 出発日の14日前までに旅行会社で申し込む。

窓口 学生課

定期券

【名古屋市交通局(市バス・地下鉄)】

通学経路に限定されない希望区間・経路の「学生定期券」は、学生証提示のうえ、名古屋市交通局サービスセンターなどで購入してください。詳細は、名古屋市交通局Webページを参照してください。なお、他社との連絡定期券については、大学発行の通学証明シールが必要になります。

【その他交通機関】

大学発行の通学証明シールに必要事項を記入し、学生証の裏面に貼付のうえ、各交通機関の定期券発行場所で購入してください。

現住所								
通学区間								
通学定期乗車券発行控	発行年月日	期間	発行	駅	発行年月日	期間	発行	駅

通学証明シールの発行は学生課(C棟2階)で行います。

●実習用通学定期券

教育実習やインターンシップ実習を行う場合、自宅から実習先までの「実習用通学定期券」を発行することができます。

詳しくは教育実習、インターンシップ参加希望者対象のガイダンスで説明があります。

発行には、各交通会社にて、承認が必要になり、時間がかかります。

遅くとも実習1ヶ月前までに申し出てください。

窓口 学生課

自動車通学

学生の「自動車通学」は禁止です。

自動車で通学し、道交法違反行為(違法駐車等)あるいは迷惑駐車等(住宅地路上、店舗駐車場等)を行った場合は、大学として厳しく対応します。

健康上の理由等で自動車通学が必要な場合は、学生課に申し出てください。



自動二輪車(原付を含む)・自転車通学

自動二輪車(原付を含む)、自転車で通学する場合、大学への申請は不要です。原付を含む自動二輪車は西門のバイク置き場、自転車は西門駐輪場、図書館南駐輪場R棟西駐輪場、B・C棟西側駐輪場、M棟北側駐輪場をご利用ください。

●注意事項

使用しなくなった自動二輪車や自転車を駐輪場へ放置しないでください。また、キャンパス内では二輪車や自転車は乗らず、押して歩いてください。

通学マナー

地域住民の迷惑とならないよう、車道・歩道を広がったの歩行や無理な道路横断・信号無視、歩きながらのデバイス操作など絶対にしないでください。

上記のような行為は、交通事故につながり、自分はもちろん多くの方に迷惑をかけることとなります。また、住宅街の中を大きな声で話しながら集団で歩くことがないようにし

てください。

大学生として、また社会を構成する一員として、マナーを守って良識ある行動をしてください。

八事日赤駅、名古屋大学駅を利用する場合は山手通門を、いりなか駅を利用する場合は西門を通過して通学してください。

通学マナー 7か条



大声で話さない



推奨ルートを使おう



交通ルールを守ろう



近隣住民・
他者への配慮を



道路いっぱいに
広がって歩かない



歩きスマホは厳禁



大学内や周辺での喫煙、
ゴミのポイ捨ては厳禁

学生ロッカー

- ・学生ロッカーは、希望申込制です。(理工学部を除く)
PORTAのお知らせを確認し、所定の申込を行ってください。
- ・学生ロッカーは、学部により配置場所が異なります。指定されたロッカーを利用してください。
- ・各自に割り当てられたロッカー番号は、PORTAでお知らせします。
- ・指定されたロッカー以外を使用しているのを発見した場合、本人の承諾なく収納物品を撤去します。

●学生ロッカー 利用上の注意

1. 利用目的

学生生活に必要な荷物の保管場所として使用する

2. 利用時間

学生ロッカーのある建物の開放時間に準ずる

3. 注意事項

- 快適かつ安全に利用するために、以下のことに注意する
- ・自分に割当てられたロッカー以外は使用しないこと
- ・各自で鍵(南京錠、ダイヤルキー等)を用意し、盗難に注意すること(収納物品の盗難及び損害が生じた場合において、大学は一切の責任を負わないものとする)
- ・貴重品は置かないこと
- ・「学生証」は常に携帯し、警備員巡回時等に提出を求められた時には必ず提示すること
- ・ひとけの少ない時間帯においては、自己の安全に十分注意すること
- ・ロッカーは清潔に保つこと
- ・学生ロッカーの利用期間終了日の通知があった場合は、定められた期日までに収納物品を撤去し、原状回復すること(利用期間終了後に残された荷物は、本人の承諾なく廃棄する)

学生セミナー室

学科毎に学生セミナー室があります。(理工学部を除く)
学生セミナー室の利用については、指導教員または学部事務室に確認してください。

●学生セミナー室 利用上の注意

1. 利用目的

学生セミナー室は教育と研究のためだけに使用し、目的から逸脱しないこと

2. 利用時間

原則として(月～土)8時～21時とする

※日曜日や授業期間外に利用する場合は、必ず指導教員に申し出て許可を得ること

3. 注意事項

- 快適かつ安全に利用するために、以下のことに注意する
- ・入口ドアはオートロックのため、テンキー暗証番号を忘れないこと
- ・「学生証」は常に携帯し、警備員巡回時等に提出を求められた時には必ず提示すること
- ・盗難防止のため、室内に私物を放置しないこと(私物の盗難及び損害が生じた場合において、大学は一切の責任を負わないものとする)
- ・学生セミナー室内のロッカー利用については、施錠等の管理を自己責任において行うこと
- ・ロッカーは清潔に保つこと
- ・学生ロッカーの利用期間終了日の通知があった場合は、定められた期日までに収納物品を撤去し、原状回復すること(利用期間終了後に残された荷物は、本人の承諾なく廃棄する)
- ・ひとけの少ない時間帯においては、自己の安全に十分注意すること
- ・室内を清潔に保つこと

4. 禁止事項

以下のことは厳禁とする

- ・部外者に暗証番号を教えること
- ・酒類の持ち込み、飲酒、喫煙
- ・ガス器具、火事が起こりやすい電熱製品などの使用
- ・大声で騒ぐなど、他に迷惑をかける行為

※上記に加え、各学部・学科で定めている注意事項を遵守し、利用すること

学生ロッカー・学生セミナー室の利用上の定めに違反した場合は、利用を中止する場合があります。

2

キャンパスライフ

マンション・アルバイト

南山大学学生専用マンション
民間のアパート・マンション
アルバイト
「闇バイト」に関する注意

多文化交流

派遣留学制度
短期留学プログラム
第2クォーター在学中在外学習制度
国際学生宿舎
多文化交流ラウンジ
ジャバンプラザ
ワールドプラザ
奨学金

課外活動案内

課外活動の概要
集合・行事の許可申請
印刷物の配布・貼紙・立看板について
課外活動団体宛郵便物
課外活動登録団体
課外講座
南山エクステンション・カレッジ

保健センター(保健室・学生相談室・大学生生活支援室)

保健室(オリーブ)
学生相談室(エマオ)
大学生生活支援室(ベタニア)
健康診断
AED(自動体外式除細動器)
予防接種
インフルエンザ・新型コロナウイルス

保険・ハラスメント

保険
見舞金・弔慰金・慰問金
ハラスメントへの取り組み

キャリア支援

キャリアサポートプログラム
インターンシップ
就職支援

防災

防災

注意事項

学内で盗難・事件・事故に遭ったら
遺失物と盗難防止
飲酒について—南山大学の基本方針と注意喚起—
喫煙
学内施設の保全と防災・防火
地域住民等への迷惑行為の禁止
キャンパスマナー
「悪徳業者」「マルチ商法」による被害に遭わないために
悪質な宗教団体からの勧誘
学生ローン・クレジットカード使用の注意
ひとり暮らしに関する注意
薬物使用に関する注意
海外へ渡航する際の注意
ソーシャルネットワークサービス(SNS)を利用する際の注意

南山大学学生専用マンション

南山大学学生専用マンションは、遠隔地からの入学者のために、入学時の経済的負担を少なくし、快適な学生生活を送ることができるよう援助するために設けられた施設です。

学生マンション

マンション名	家賃
四ツ谷の里(女性専用)	54,000円(共益費を含む)

- 入居期間は2028年2月15日までとなります。
(継続入居を希望される方は、下記のとおりとなります)

南山大学の契約は2028年2月29日迄、3月1日以降はオーナーと直接契約となり、他大学の学生及び男性の入居も可となります。

窓口 学生課

民間のアパート・マンション

アパート・マンションの契約は各自の責任で行ってください。次の業者でマンションの紹介をしています。

(株)学生情報センター

〈本店) Phone 0120-749-114

<https://s.749.jp/nanzan-u/>



アルバイト

アルバイトの紹介を受ける際には、学生証(外国人留学生はパスポートの資格外活動許可証印、または、在留カードの資格外活動許可欄)を提示してください。

また、(株)学生情報センターのWebページのアルバイト紹介システムより、アルバイト情報を閲覧することができます。

学生アルバイト情報ネットワーク

<https://baitonet.jp/nanzan-u/>

※利用にあたり無料会員登録が必要となります。



●留学生のアルバイト

留学生のみなさんが持つ在留資格では、日本において報酬を受ける活動に従事することはできません。アルバイト等、報酬を伴う活動を行う場合には、入国管理局長による資格外活動許可を受ける必要があります。この許可を得て初めて定められた範囲でアルバイトをすることができます。(アルバイトができる時間は週28時間までです。また、大学が決めた長期休暇(夏休み・冬休み・春休み)の間のアルバイトは1日8時間までです。)許可を取得せずにアルバイト活動を行うことは法律違反です。〔出入国管理および難民認定法第19条〕

アルバイトをするときは、留学生として十分に自覚を持ち、本来の目的である「勉学」の妨げにならない範囲で行ってください。

●アルバイトをする場合の注意事項

1. 学業に支障をきたさないよう必要最小限とすること。
2. 大学生に相応しい職種内容を選ぶこと。
3. 仕事の内容を理解し、自己の能力に応じたものを選ぶこと。
4. 労働基準法などの適用を受けるため雇用先と労働契約を交わすこと。

アルバイトの被害が発生しています。アルバイトは慎重に選んでください。大学紹介以外のアルバイトの中には高い賃金と引き換えに危険な仕事を伴うもの、学生に相応しくないもの、不当な労働条件のものも含まれており、家庭教師や塾の講師での賃金不払いも発生しています。

また、家庭教師の派遣を行うサークル・企業の中には、家庭教師の派遣と同時に、高額教材の販売を目的とする団体もあり、派遣先との間でトラブルを起こすケースがあります。このような団体には十分注意してください。

さらに、南山大学生と名乗って夜間等に個人宅へ電話し家庭教師の斡旋を行うことは、電話先へ迷惑をかけることが少なくなく、苦情も多発しています。大学生のアルバイトとして相応しくない業務と認識してください。

●厚生労働省

「アルバイトを始める前に知っておきたい7つのポイント」

<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/parttime/>



いわゆる「闇バイト」に関する注意

SNSやインターネットの掲示板には、仕事の内容を明らかにせずに著しく高額な報酬の支払いを示唆するなどして犯罪の実行者を募集する投稿が掲載されています。簡単に高収入を得られるなら、と応募して、強盗や詐欺といった犯罪に加担することとなり、逮捕された人が多くいます。絶対に手を出さないでください。「高額」「即日即金」「ホワイト案件」等の「楽で、簡単、高収入」であることを強調する求人情報には注意してください。また、シグナルやテレグラムといった匿名性の高いアプリに誘導されたりする場合は犯罪に関わる危険性が高いです。

世の中にはそんな上手い話はありません。怪しいかもしれない、と迷ったら、「必要なお金が貯まるまで」「一回だけなら大丈夫」などと一人で判断せずに、家族等周囲の人や警察に相談してください。

●警察庁「警察相談ダイヤル#9110」

<https://www.npa.go.jp/bureau/soumu/soudan/soudanmadoguti.pdf>



●愛知県警察 少年相談窓口 電話:052-764-1611

派遣留学制度

派遣留学を実現するためには、実現したい内容に合わせて留学計画を立てることが必要です。南山大学は、世界39の国・地域にある132大学と交換留学のための協定を結んでいます。(2025年12月時点) また、その国で許可されている4年制の大学であれば、認定留学として世界中のどこでも留学ができます。留学先大学で修得した単位を本学開講科目の単位として認定申請し、留学期間を合わせて4年間で卒業を目指すことも可能です。さらに、学生の派遣留学を奨励し、経済的援助を行う目的で、派遣留学奨学金制度や外国語能力試験受験料補助制度を設けています。各自で責任を持って情報収集をし、自分の目的やレベルに合った留学計画を立てましょう。国際センター事務室では随時情報を提供し、相談も受け付けています。

短期留学プログラム

中・長期留学制度以外にも、各学部で授業の一環として開講されている海外研修や、長期休暇を利用した海外短期留学プログラムが多数用意されており、各自の語学レベル、興味の対象、学習計画、将来設計に応じてプログラムを選択することができます。プログラムごとに特色は異なりますが、いずれも充実した語学授業や多様な文化体験が組み込まれており、グローバルな視野を培うことが可能です。国際センター主催のプログラム(全学部対象)については、PORTAのお知らせを通じて紹介・募集を行っています。

第2クォーター在学中在外学習制度

クォーター制導入とともに、「第2クォーター在学中在外学習制度」を制定しました。これは第2クォーター中に「南山大学学生留学規程」で定める留学期間(3ヶ月以上)に満たない期間、海外の大学で開講されるサマースクール等(期間・留学先の条件あり)を履修し、その単位を本学の単位として認める制度です。

国際学生宿舎

各宿舎の入居者募集については、PORTA・Webページ・掲示にてお知らせします。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/on-campus/living/>



南山大学ヤンセン国際寮

南山大学ヤンセン国際寮は、日本人学生と外国人留学生が共に暮らす「生活の場」でありながら、全入居者を対象に教育プログラムを実施する「教育の場」でもあります。「ダイバーシティ&インクルージョン実践力養成プログラム」は、Living、Learning、Socializingの3つのモードで構成されており、プログラムを通して、多文化共生の力、クリティカルシンキングの力、インクルージョン実践の力、変革と創造の力を育み、国境を越えて活躍できる力を身につけます。個室があるシェア型の寮で、最大10名でダイニングキッチンを共有し、隣り合う2つのリビンググループ(最大20名)でトイレ・シャワーを共有します。

●入居資格者

本学学生

●入居期間

原則として1年以内 *更新申請(審査あり)による延長可能

●入居時期

原則として4月と9月 *空室状況等により募集しない場合がある

●室料

月額60,000円(光熱水費、Wi-Fi代、寝具レンタル代を含む)
教育プログラム費6,000円(半年あたり)
団体総合生活保険料3,760円(1年あたり) ※2025年現在



南山大学名古屋交流会館

南山大学名古屋交流会館は、総合政策学部の留学生(1・2年生)の指定宿舎です。留学生と日本人学生が互いに多様な価値観を認め合いながら共同生活を送る個室のあるシェア型の宿舎(4LDKに最大4名)です。

●入居資格者

本学学生

●入居期間

原則として1年以内 *最長2年間

●入居時期

原則として4月と9月 *空室状況等により募集しない場合がある

●室料

月額40,000円(光熱水費、Wi-Fi代、寝具レンタル代を含む)



UR千代が丘住宅

UR千代が丘住宅は、総合政策学部の留学生(3・4年生)の指定宿舎です。個室のあるシェア型の宿舎で、(独)都市再生機構の管理するUR千代が丘住宅の一部を国際学生宿舎として利用しています。

●入居資格者

本学学生(原則として外国人留学生)

●入居期間

最長1年間 *更新申請(審査あり)による延長可能

●入居時期

原則として4月と9月 *空室状況等により募集しない場合がある

●室料

月額35,000円(光熱水費、Wi-Fi代を含む)



フォワイエ南山

フォワイエ南山は留学生を対象とする国際学生宿舎で、家具、家電付のワンルームタイプの宿舎です。

●入居資格者

本学学生 (原則として外国人留学生)

●入居期間

原則として1年以内 *更新申請(審査あり)による延長可能

●入居時期

原則として4月と9月 *空室状況等により募集しない場合がある

●室料

入居費25,000円(入居時のみ支払い)

月額60,000円(光熱水費、Wi-Fi代、寝具レンタル代を含む)

多文化交流ラウンジ

多文化交流ラウンジ(愛称:Stella)は、使用言語を制限せず、留学生を含む南山生が自由に多文化交流を実現することを目的としています。ラウンジではNanzan International Ambassador (NIA)と呼ばれる学生スタッフのサポートのもと、学部・国籍などの壁を越えて自由に交流できるほか、不定期でNIAが企画する様々なイベントが開催されます。自分自身の興味・関心に合ったイベントに参加したり、留学生と友達になるために立ち寄りたり、まずは自分に合った多文化交流の一步を踏み出してください。また、NIAになると、活動を通してファシリテーターとしてのスキルやコミュニケーション能力、社会人基礎力を身に付けることができます。イベント情報やNIAの募集はPORTA等でお知らせします。



<https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/on-campus/intlexchange/stella.html>



ジャンプラザ

ジャンプラザは、日本語だけを使って国際交流するためのスペースです。留学生が教室の外でも日本語で交流できるように開設されました。学生TAによって、日本に関するイベントが開催されることもあります。日本人学生にとっては、母語である日本語で気軽に留学生と交流できることや、日本語を教えることの面白さ・難しさを体験できることが魅力となっています。

ワールドプラザ

ワールドプラザは、楽しく外国語や異文化について学びたいと思っている皆さんをサポートする施設です。一歩足を踏み入れれば、そこは外国語だけの世界。学内留学を体験できるスペースです。ワールドプラザ・アシスタントと呼ばれる学生スタッフが、語学力向上を目的とした各種イベントの企画・運営を担っています。

奨学金

●派遣留学生

南山大学派遣留学奨学金制度

本学学生が学則第29条の定めによって、外国の大学に留学する場合には、奨学金(給付・貸与)を申請することができます。奨学金制度の詳細は、年度によって変わることがありますので、国際センター事務局で最新の情報を確認してください。

学外団体等の留学奨学金制度

国際センター事務局のWebページで紹介しています。

https://office-a.nanzan-u.ac.jp/all/cie/scholarship/scholarship_currentstudents.htm



●私費外国人留学生

南山大学外国人留学生奨学金

本学で学ぶ外国人留学生に対し、奨学金を給付し、学業達成に資することを目的とした制度です。

学外団体の奨学金制度

文部科学省、また様々な奨学財団から学外奨学金の募集があります。

前年度募集奨学金一覧: https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/to-nanzan/item/LastYear_Scholarship.pdf



課外活動の概要

課外活動は、学生の皆さんが教養と自律性を養い、社会性を身につけ、お互いに啓蒙しあう場として、大きな教育的意義があるものと考え、その健全な育成に努めています。もとよりそれは本学の教育目的を達成するために行われるものであり、学生部(学生部長、学生部次長等)、担当教員、クラブ部長および学生課の助言と指導を得た規律ある活動であることが大切です。また、それらの活動は正課との適切な調和に意を用いつつなされるのが大切で、学業の達成を妨げるものであってはなりません。

● 本学における課外活動は、およそ次の3種に分けることができます。

1. 大学祭・上南戦など全学的な規模でなされる行事
2. ゼミナール単位でなされる活動
3. 課外活動諸団体による活動

● 全学的な行事

大学祭



毎年10月下旬～11月上旬頃に、課外活動の成果を発表する目的で大学祭が開催されます。期間中は、各クラブ、ゼミの発表、展示会、また地域団体等との交流が行われ、各種の模擬店も賑やかに立ち並び、連日構内いっばいに若いエネルギーが充満します。また、期間中には同窓会によるホームカミングデーも催されます。



南山大学公認 体育会キャラクター「ライナンくん」

上南戦

上南戦とは、本学の姉妹校である上智大学との間で行われる「総合対抗運動競技大会」の通称で、7月に東京と名古屋で交互に開催されます。各クラブのOB・OGの方々にもお越しいただき、熱のこもった応援合戦が繰り広げられます。また、体育系のクラブだけでなく、文化系クラブの間でも上智・南山両大学の交歓会、演奏会などが催され、最も大きな年間行事の一つになっています。今年の第67回大会は南山大学で開催されます。



● 学部・学科所属の各ゼミナールが企画・実施する諸行事

代表的なものとしてゼミ合宿などがあります。ゼミ合宿は、正課に準じた学習を目的としており、ゼミの担当教員が必ず同行して指導に当たります。

● 学生が中心になって組織する課外活動団体(大学公認団体)の諸行事

行事回数も参加者総数も非常に多く、また学生の皆さんの自律性・社会的協調性などを養う意味でも、大きな教育的意義をもっています。クラブ活動の健全な発展のために、クラブ部長制度と合宿・集合・行事の許可申請制度を採用しています。

《クラブ部長制度》

クラブ部員が希望する専任教員を学長がそのクラブの部長に委嘱し、各クラブが行う諸行事の計画と実施に適切な助言と指導を与えるという制度です。大学としても各クラブ部長にできるだけ行事に参加していただくよう依頼しています。





集合・行事の許可申請

課外活動団体として合宿や行事を行う場合は計画的に準備を行い、**遅くとも1週間前**までに届け出て、学生部長の許可を得てください。まず「**集合・行事許可申請書**」に申請団体名、責任者(主将または主幹)名、目的、日時、場所、参加予定人員などを記入し、クラブ部長の承認を得た上で、その申請書を窓口もしくはオンラインにて提出してください。学外の諸団体と共催で行事をする場合、後日トラブルが起ころぬよう、相手方と事前に十分協議しておいてください。

●緊急連絡先

学生課〔平日9:00~17:00〕

052-832-3118

総合受付〔上記以外〕

052-832-3891

印刷物の配布・貼紙・立看板について

課外活動団体がポスター・ビラ等の掲示、配布をしたいときは遅くとも掲示・配布等の1週間までに「**掲示・配布物発行申請書**」をサンプルと共に学生課に提出してください。課外活動取扱要項第2条に反するものは受け付けません。承認後は責任者の学生番号、氏名を明記の上、掲示・配布してください。掲示物を所定の場所以外に貼りだす必要のあるときは、事前にご相談ください。

課外活動団体宛郵便物

課外活動団体宛の郵便物はC棟2階ロビー内のメールボックスに届けます。

※個人宛郵便物は、取り扱いません。



課外活動登録団体

南山大学の学生であれば、課外活動団体に所属することができます。

● 体育系クラブ

[体育会所属クラブ]

団体名	クラブ部長
アイスホッケー部	永田 智成
アメリカンフットボール部	河合 正雄
バドミントン部	畑山 知子
バレーボール部(男・女)	伊藤 奨
バスケットボール部(男・女)	生駒 俊英
フェンシング部	鈴木 達也
ゴルフ部(男・女)	戸田由紀子
ハンドボール部(男・女)	宮尾 亮甫
準硬式野球部	中村 和彦
柔道部	實原 隆志
空手道部	岡田 悦典
剣道部	浅石 卓真
航空部	坂本 登
硬式庭球部(男・女)	山岸 敬和
硬式野球部	西岡 淳
弓道部(男・女)	緒方 桂子
軟式庭球部(男・女)	宮崎 浩伸
応援団	岡田 悦典
ラグビー部	O'CONNELL, Sean
陸上競技部	加藤 孝基
サッカー部	太田 代幸雄
少林寺拳法部	水留 正流
漕艇部	中屋 宏隆
水泳部	上峯 篤史
ソフトボール部	宮沢 千尋
卓球部(男・女)	岸川 俊太郎
洋弓部(男・女)	森田 貴之
ヨット部	阪本 俊生
ラクロス部(男・女)	金 興烈
基礎スキー部	中村 和彦

[スポーツ系クラブ(公認団体)]

団体名	クラブ部長
軟式野球同好会	永田 智成
鈴峰山歩会	阪本 俊生
サイクリングクラブ	沢登 文治
テニス愛好会	南川 和充
合気道部	三好 千春
南山大学競技チアリーディング部RUSTLES	上田 薫
フィギュアスケート部	藤岡 慧
BADOO!!	山田 望
名古屋SPIDERS	笹川 慶

[スポーツ系クラブ(準公認団体)]

団体名	クラブ顧問
Forty-LoveTennisTeam	吉田 敦
南山大学アルパインクラブ	渡部 森哉
競技ダンス部	西森 晃

● 文化系クラブ

[文化会所属クラブ]

団体名	クラブ部長
アメリカ民謡研究会	坂井 博美
美術部	齋藤 敬之
演劇部	林 尚志
ギターアンサンブル	大八木 英夫
ギター音楽研究会	西森 晃
管弦楽団	RAJCANI, Jakub
軽音楽部	石川 良文
吹奏楽団	土屋 耕治
裏千家茶道部	森山 幹弘
野外宗教劇	HERA, Marianus Pale
ジャズ研究部N.A.Q.	学生部 預かり
Hello MUSIC	蜂巣 吉成
表千家茶道部	原田 直枝
NK type S(軽音楽部)	窪田 祐一
和太鼓団体吹奏	三輪 まどか

[文化系クラブ(公認団体)]

団体名	クラブ部長
アイセック	南川 和充
ボランティア・サークル	奥田 太郎
ドイツ文化研究会	RIESSLAND, Andreas
E.S.S.	ELLIOTT, Darren
NLD~法律学研究会~	平林 美紀
国際親善クラブ	太田 代幸雄
漫画研究会	MANGGA, Stephanus
文化人類学研究会	藤川 美代子
落語研究会	林 順子
スペイン文化研究会	永田 智成
文学研究会	加藤 隆雄
書道ペン字クラブ	森田 貴之
聖歌隊 南山大学スコラ・カントールム	清水 美佐
ダンスサークル PRIME	北村 雅則
ハンドベルクワイア	中尾 陽子
パイプオルガン・サークル	西脇 良
映画研究会	林 順子
Multi Creators Club	名倉 正剛
ボランティアサークルTogether	POTTER, David M.
アカベラサークルみなみやま	籠橋 一輝
南山大学写真クラブFOCUS	野口 博史

[文化系クラブ(準公認団体)]

団体名	クラブ顧問
名古屋模擬国連	山田 哲也
Disney Friends	中尾 陽子
NanzanAID	狭間 諒多朗

● 委員会

委員会名	委員会顧問
体育会執行委員会	中 裕史
文化会執行委員会	西脇 良
大学祭運営委員会	(学生部長)
卒業アルバム委員会	(学生部長)
上南戦実行委員会	(学生部長)

課外講座

会計士講座

大学で学ぶ学生の中には学部を問わず、税理士や公認会計士を志望する人が多くいます。その合格を果たすためには、カリキュラムにある会計関連科目の履修だけではとても充分とは言えず、個々人でハードな受験勉強を行う必要があります。そんな学生たちのためにあるのが『会計士講座』。同じ志を持つ学生たちが自主的に集まり、教員や先輩の指導を仰ぎながら情報交換や勉強会、試験前合宿などを行うというものです。実際にこの講座のOB・OGの中から何名もの資格取得者が生まれています。

これからの社会では会計プロフェッションは、専門職としてだけでなく、その資格を核としたマネージメントサービスや国際税務アドバイザーなど幅広い活躍が期待されています。試験は生易しいものではありませんが、目標を高く持って合格を目指してください。

 経営学部事務室

法職特別課外講座

法学部では、正規の講義の他に、学部を問わず全学の学生・卒業生を対象とした、特別な課外講座を開設しています。通称「法職」と呼ばれるこの講座は、弁護士、裁判官、検察官になるための司法試験、法科大学院(法学既修者)入試、国や県庁・市役所の職員、あるいは裁判所の事務官や家庭裁判所の調査官となるための公務員試験、さらには司法書士などの資格試験、法学検定試験を目指す人のために課外授業を行う講座です。

1年生を対象とした「ベーシックコース」のほか、資格取得を目指す人のための「資格取得民法基礎コース」も開かれます。講座の担当者には、法学部・法務研究科の教員のほか本学出身の弁護士や実務経験豊富な司法書士が含まれますので、徹底した実力の養成と人間的な触れ合いのもとで、「生ける法」を学ぶことができるはずです。

 法学部事務室

南山エクステンション・カレッジ

南山エクステンション・カレッジでは、在学中にスキルやキャリアアップを図ろうとする意欲のある本学の学生のために特別講座を開講しています。その他にも、在学生のみでなく、卒業生や一般の方を対象とした、語学学習やキャリアアップ・ライフサポートに対応した公開講座の開講、公開講演会等を実施しています。

詳細や申込み方法等については南山エクステンション・カレッジWebページおよびPORTAで案内します。

【2026年度 学生向け特別講座 開講予定】

- ・公務員試験対策講座(総合/教養コース)
- ・宅地建物取引士資格試験対策講座
- ・エアライン就職対策講座
- ・簿記検定試験対策講座
- ・会計士対策講座
- ・教員採用試験対策講座

南山エクステンション・カレッジ事務室(R棟7階)

<https://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>

E-mail: extension-s@nanzan-u.ac.jp



保健室(オリーブ)

不規則な日常生活を送りがちな学生時代にこそ“よい生活習慣”を身に付けることが、生活習慣病の予防につながると考えます。

毎年の定期健康診断や平素の心身の健康管理を通じて、病気の予防、早期発見に努め、自己の健康管理をしていくことが大切です。保健室はそのためのサポートをしています。健康に関する資料(本・パンフレット等)、体脂肪計、血圧計なども設置しています。

●健康相談

日常生活の中で病院へ行くべきかどうかで迷う時や、自身の健康状態について疑問に思ったことなど、保健室ではいろいろな相談を随時受け付けています。

また、随時学校医による健康相談を行っています。様々な講座等も企画していますので、ご利用ください。

●応急処置

学内で怪我をしたり、急に気分が悪くなった場合には、遠慮なく保健室で手当てを受けてください。必要に応じて病院を紹介するなど、緊急時に備え万全を期しています。



大学生生活支援室(ベタニア)

学生が自由に勉強したり、食事を摂ったり、休憩したりするスペースを設けています。気楽に覗いてください(私語や音が出る機器の使用はご遠慮ください)。

履修登録やキャリア形成に関する支援会、先輩による学習支援などのピアサポートの機会もありますので、是非ご利用ください。

なお、部屋の奥には、修学を中心とした学生生活で行き詰っている学生の学習環境を整えるための相談窓口(合理的配慮申請を含む)があります。

保健センターの総合窓口は以下のとおりです。

保健室(D棟1階)

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日閉室。

ただし、休暇中、大学行事日はこの限りではありません。

Phone: 052-832-3437

E-mail: hoken-c@nanzan-u.ac.jp

学生相談室(エマオ)

学生相談室は、学生の皆さんが抱える様々な問題から生じる悩みについて、心理カウンセラーが話を聴きサポートをする場です。大学生活で起こりえる悩みは学業をはじめ、課外活動、対人関係、家庭、人生に対する疑問や目標、将来の進路選択など多岐にわたります。

個人が抱える悩みについて一緒に考え、よりよい解決策を見つけていくために支援と助言をします。



メンタルヘルス相談

普段、人は誰でも悩みを抱えると、日常生活において次のような変化が起きることがしばしばあります。

例えば……

勉強や作業への集中力が下がる。

頭が回らなくなる。

何かするのが億劫になる。

人と話したくない。

ぐるぐる考え込んでしまう。

食欲が落ちる、もしくは増える。

寝つきが悪い、熟睡できない。

特定の場所に入れなくなる。

特定の場所に座っているのが困難になる。

メンタルヘルス相談では、あなたが抱えている悩みの内容の傾聴や検討と共に、これらの現象が緩和されることを目指した面接を行っています。精神科医と、心理師により無料で対応しています。秘密厳守です。お気軽にご相談ください。

健康診断

定期健康診断

毎年実施される定期健康診断を必ず受けてください(南山大学学則および学校保健安全法の定めによる)。

健康診断を毎年受けていない人は、就職、大学院進学、留学、アルバイトなどに必要な「健康診断証明書」の交付がされません。

学内で実施する健康診断の結果照会には1ヵ月ほどかかります。Webページ上のPORTAの健康診断結果照会画面で必ず確認してください。

なお、受診できなかった方で、南山大学の発行する健康診断証明書が必要な場合は、医療機関で健康診断を受診して、保健室に健康診断結果を提出してください。

健康診断項目は、身長・体重、血圧、胸部レントゲン検査、尿検査(蛋白・糖・潜血)、診察・問診です。

●健康診断証明書の発行

健康診断を受けている人には、証明書自動発行機から証明書を発行します。1項目でも未検査があった場合、即日発行はできません。発行できない場合は、直接保健室へお尋ねください。

指定の用紙による健康診断証明書の発行が必要な方は、保健室にご相談ください。

AED(自動体外式除細動器)

AEDは、突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器です。

心停止が起きると全身に血液を送ることができなくなり、命を落とす可能性も考えられます。

心停止を起こした人が近くにいたら、救急車が到着するまで、胸骨圧迫、AED、人工呼吸等を適切に行うことが重要です。

AEDは一般市民の使用が認められています。本学においては学生、教職員、全員が2分以内にAED設置場所に到着し3分以内にAEDを操作することを目標に設置(巻末のキャンパスマップ参照)してあります。



AED本体

各棟設置のAED

グラウンド観覧席後方

●心肺蘇生とAEDの使用手順

大学Webページより、保健センターの「保健室(オリーブ)」-「保健室とは」を確認してください。

予防接種

予防接種歴は、母子健康手帳に記録されているので確認してください。クリニック等に予防接種の相談をする際は、母子健康手帳や予防接種の記録を持参してください。

学校保健安全法に規定されている学校において予防すべき感染症の中で、定期接種の対象である感染症としては、ジフテリア、百日咳、急性灰白髄炎(ポリオ)、麻疹、風しん、結核(BCG)、水痘(水ぼうそう)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、インフルエンザがあります。

●麻疹(はしか)

麻疹ウイルスによって起こる感染症です。人から人へ感染します。感染力はきわめて強く、麻疹の免疫がない集団に1人の発症者がいると12~14人が感染するとされています。

感染したら90%以上が発症し、様々な合併症が見られます。合併症の半数は肺炎ですが、頻度は低いものの脳炎の合併例もあります。この二つの合併症は麻疹による二大死因になり、注意が必要です。

麻疹は、接触・飛沫・空気(飛沫核)のいずれの感染経路でも感染します。唯一の予防は、ワクチン接種によって免疫をあらかじめ獲得しておくことです。

●風しん

風しんウイルスによって起こる感染症です。人から人へ感染します。風しんの免疫がない集団に1人の発症者がいると5~7人が感染するとされています。風しんに免疫のない妊婦(妊娠20週頃まで)が風しんウイルスに感染すると、出生児が先天性風しん症候群を発症する可能性があります。男女ともにワクチンを受けて、風しんの流行を抑制し、女性は感染予防に必要な免疫を妊娠前に獲得しておくことが重要です。

●海外渡航時の予防接種

海外渡航時には、様々なワクチン接種が推奨されていますが、麻疹、風しん、水痘(水ぼうそう)、インフルエンザ、破傷風は、渡航先にかかわらず予防接種が推奨されます。特に麻疹、風しんのウイルスは感染力が強いため、多くの国に感染者がみられます。2007年春には、大学生の間で麻疹が大流行しました。海外渡航する時は、渡航に必要なワクチンを確認するとともに麻疹、風しんにかかったことがあるのか、ないのかを予防接種履歴や過去の記録で確認する必要があります。

インフルエンザ・新型コロナウイルス

インフルエンザ・新型コロナウイルスの感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用などが効果があります。

インフルエンザ感染症にかかった場合は、学校保健安全法に従って発症後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで、休養することを推奨しています。新型コロナウイルス感染症は、発症後5日を経過し、かつ症状が軽快から24時間経過するまでの間は外出を控えることを推奨しています。P18のQ&Aも参照してください。

保険

〈学生教育研究災害傷害保険〉

この保険は学生のための補償救済制度で、学部生は入学時、大学院生は1年毎に全員加入しています。学部生は、保険期間が修業年限(4年間)までのため、残留すると対象から外れ、修業年限以降は任意加入になります。

大学主催行事(全学または各学部の学生全員が参加する公式行事などを含む)および正課の授業時間、課外活動中および通学中等に発生した事故傷害に対して、諸条件に該当すれば医師の治療を受けた場合の医療保険金、後遺傷害保険金などが支給されます。

手続き等、詳しくはWebページをご覧ください。
<https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/campus-life/insurance01.html>



窓口 学生課

〈遠隔地被扶養者健康保険証〉

健康保険被保険者証カード(個人用)でない場合、必要なものです。急病や不慮の事故などで医療機関を利用するには、遠隔地被扶養者保険証が必要になります。保険証のコピーでは受診できませんので、次の手続きを行ってください。

- 国民健康保険の場合…扶養者が在住している市区町村役場に「在学証明書」を提出してください。
- 社会保険の場合…扶養者の勤務先に「在学証明書」を提出してください。

見舞金・弔慰金・慰問金

本学には見舞金・弔慰金・慰問金制度があります。学生課で問い合わせてください。

- 見舞金
学生本人が正課中等の事故により治療期間7日以上を負傷をした場合、見舞金を支給します。
- 弔慰金
不幸にして学生の父母、または学生本人が死亡した場合、大学より弔慰金を支給します。
- 慰問金
地震、火災、水害等により、2親等以内の同居家族が全治1カ月以上のケガをしたり、居所が甚だしく損傷した場合、慰問金を支給します。

窓口 学生課

ハラスメント防止への取り組み

1. ハラスメントのない環境づくりに向けて

「人間の尊厳のために」を教育のモットーとする南山学園では、人間の尊厳を傷つけ、人権を侵害し、または、教育・研究をする環境や、それを支える職場環境を損なうような行為は、断じてこれを許すものではありません。許されざるそのような行為の一つがハラスメントです。

学園では、ガイドラインを定め、「人間の尊厳のために」という教育モットーの下、憲法、教育基本法、いじめ防止対策推進法、障害者差別解消法、労働基準法、男女雇用機会均等法、労働施策総合推進法および育児・介護休業法等の精神に則り、さまざまなハラスメントの問題に対して厳しい姿勢で臨み、本学園すべての構成員の尊厳と人権を擁護し、ハラスメントのない平穏で快適な学習・教育・研究・就労環境を保障することに努めています。

2. ハラスメントとは

ハラスメントとは、教育・研究・仕事等の場で、他者を不快にさせたり、傷つけたりする言動のことです。こうした言動をする人自身に、他者を傷つける意図がなくても、ハラスメントに該当する場合があります。

教育機関で起こりやすい代表的なハラスメントには、モラル・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、育児ハラスメント・介護ハラスメントなどがあります。

3. 防止・対応体制、相談体制

学園では、ハラスメントの防止および問題解決のために、学園内の独立した機関として、「南山学園ハラスメント問題対策委員会」を常設しています。対策委員会は、相談者から申立てがあった際に手続きを進め、問題解決に当たります。あわせて、ハラスメントの防止に向けて周知・啓発活動に取り組みます。

また、「南山学園ハラスメント相談室」を対策委員会の下に開設しています。相談室では、専門相談員が、相談を通じてハラスメント問題に対処するための情報提供をしたり、解決に向けて相談者が自己決定していけるように支援をします。

4. あなたがハラスメントの被害にあったら

ハラスメントは多くの場合、「いや」とは言えない状況で起こります。不快な気持ちを相手に伝えられなかったとしても、自分を責めたり、「自分さえ我慢すれば」と沈黙したりする必要はありません。

ハラスメントだと感じるような言動を受けたら、日時・場所などについて、できる限り詳しい記録を残しておきましょう。

そして、自分で解決することが難しいと感じたら、あるいは、ハラスメントかどうかわからないというときにも、積極的に学園のハラスメント相談室を利用してください。専門相談員が、秘密を守り、寄り添いながら、お話をお聴きします。

5. 誰かを傷つけてしまわないように

ハラスメントは、どのような人との間でも、どのような場所・時間帯でも起こりえます。

「弱い」立場にある人は、「強い」立場にある人に「いや」と意思表示できないことがあるからです。「強い」立場と「弱い」立場は、状況によっても変わります。相手が不快なのかどうかに気付くアンテナをだれもが持ち、互いに信頼関係を築くことが、ハラスメントを起ささない環境づくりにつながります。

また、ハラスメントは、差別意識や固定的な観念等を背景として引き起こされます。ハラスメントが起こらないようにするためには、お互いの違いや価値観の多様性を認め、互いの人格を尊重し合うことが必要不可欠です。

そして、従来はごく当たり前のことで、社会的には許容されると思われていたことや、その人にとっては「常識」の範囲内での言動でも、今日では社会的に許されず、他者を不快にして傷つけるかもしれないことに注意しておかなければなりません。たとえその「常識」が目の前の成果や結果につながるとしても、ハラスメントになりうるのです。

学園のハラスメント相談室では、自分の言動がハラスメントに当たるかもしれないと悩んでいる方からの相談にも対応しています。

6. 困っている人を見かけたり、相談を受けたりしたら

困っていることを相談するには、大変な勇気を要します。困っている人を見かけたら、まずは優しく声をかけてあげましょう。

もし、相談されたときは、困っている人の話にしっかりと耳を傾けましょう。困っている人の主張を、真摯に受け止め、あなたを信頼して気持ちを打ち明けてくれた勇気に敬意を払いましょう。

そして、その人がどうしたいかを自分自身でじっくり考えられるようサポートすることが大切です。学園のハラスメント相談室の利用を勧めることも、一つの方法です。

詳しくは、Webページをご覧ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/harassment/>



■相談受付

メールアドレス [hrrsmt-soudan@nanzan-u.ac.jp](mailto:hrsmt-soudan@nanzan-u.ac.jp) 【受付専用】

「相談」は予約制です。「相談」を希望する人は、氏名・連絡先・所属を明記して、ハラスメント相談室事務局にメールを送信し、相談の申込みをしてください。

「相談」受付後、南山学園ハラスメント相談室事務局から、折り返し連絡します。面談の日時等はメールで連絡しますので、ドメイン名【@nanzan-u.ac.jp】からのメールを受信できるよう設定してください。ただし、相談室の閉室日や、夏期・冬期事務休業期間等には、折り返しの連絡が遅くなる場合があります。

南山学園ハラスメント相談室では、相談者のプライバシーを遵守し、相談者の立場に沿って、話を聞きながら、相談者に生じている状況の把握や気持ちの整理を手伝います。そして、今後取るべき方法について、相談者の意向を尊重しつつ、専門相談員がともに考え、相談者本人の意思決定を手助けします。

キャリアサポートプログラム

入学後の早い段階から、学生の皆さんが将来の夢や目標を持つきっかけを提供し、社会で働き自立することの意義を考えるために、**キャリアサポートプログラム**を実施します。自らの将来を考える絶好の機会ですので、積極的に参加してください。

● キャリアサポートプログラムの目的および内容 (2026年度予定)

1. 学生生活とその後のキャリアのつながり考えるため
 - ・ 学科別学び方講座
 - ・ キャリアガイダンス(1,2年生対象)
2. 希望進路の実現に向け何をすべきかを学ぶため
 - ・ テーマ別ワークショップ
 - (エアライン対策セミナー、マスコミ対策セミナー など)

3. 社会で活躍することをイメージするため

- ・ キャリアを考えよう
- ・ 南山大学卒業生キャリア・アドバイザーとの交流会
- ・ 学内企業説明会(業界・仕事研究)

日程・内容等の詳細については、学内掲示板、PORTAおよびキャリア支援課Webページで情報提供しますので、常に確認するようにしてください。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/>

将来のキャリアに繋がるものとして

は、この他に**南山エクステンション・**

カレッジの「学生向け特別講座」(有料)があります。(P.38参照)



インターンシップ

「就職後3年以内に3分の1が離職する」時代と言われていきます。これは、学生が社会に対応できる職業観や職業意識を持たず、自立心に欠けていることが大きな要因と考えられています。インターンシップは、これを改善し、国際化・情報化の急速な進展、産業構造の変化に対応する人材育成を目指して、産官学連携のもとで学生がその仕事に就く能力が備わっているかどうかを見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験を行う活動です。

本学では授業として「就業実践研修Ⅰ」(第1、第2、第3、第4クォーター)は1年生以上、「就業実践研修Ⅱ」(第1、第3クォーター)は2年生以上の学生を対象とした共通教育選択科目(各1単位)を用意しています。講義型の「就業実践研修Ⅰ」では、インターンシップ等の準備のために必要な知識の習得や能力開発を行います。「就業実践研修Ⅱ」では長期休暇中に企業等での就業体験と、報告会等の事後講義を行います。履修生の多くはインターンシップを体験し、「就職に対する視野が広がった」「仕

事への意欲が出てきた」等の成果を得ています。是非、授業を履修し、社会人としての心構えや働くことの意義を理解し、自己の適性の発見と将来のキャリア計画に役立て、学生生活を有意義に過ごすための契機としてください。なお、第2クォーターおよび第4クォーターに履修希望者対象の説明会を開催します。

2026年度からは「社会から学ぶ実践研修」という新規科目が開講されます。社会課題に直面している様々な現場で、集中的に現場体験を積みながら、社会調査研究へとつなげていく南山大学ならではのプログラムです。各実習先では、実習先の受け入れ担当者とともに、演習担当の教員が関わります。現場体験と学術の両輪で学生たちの学びに伴走していきます。

また、キャリア支援課では、単位取得とは関係なく、自分で受入先を開拓してインターンシップを行う「**自由応募型インターンシップ**」もサポートしています。大学に届いたインターンシップ情報(仕事体験含む)は、PORTAに掲載します。

授業の履修に支障のない範囲での自発的かつ積極的な参加を期待しています。

就職支援プログラム

南山大学ならではの充実した**就職支援プログラム**は、卒業生から高い評価を得ています。

● 就職ガイダンス(全3回)

就職活動年次生を対象に、就職活動全般のオリエンテーション、南山大生の採用実績、PORTAやキャリア支援課の活用方法などを具体的に解説します。また、以下のガイダンスも別途実施予定です。

● 就職講座

- ▶ 筆記試験対策 ▶ 自己PR・志望動機
- ▶ 業界研究・職種研究 ▶ ビジネスマナー・面接対策
- ▶ 志望動機・エントリーシートの書き方
- ▶ 社会人準備セミナー(内定者対象)

● 学内企業説明会

上場企業や優良企業を中心に、南山大生のみを対象とする企業別の説明会を行います。毎年多くの学生でにぎわいます。

● そのほか、相談や資料の閲覧

相談や資料の閲覧ができます。

また、PORTAや、キャリア支援課Webページ、Instagramでも就職関連の情報を提供していますので利用してください。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/>



NANZAN.CAREER

就職ガイダンス・就職対策講座・ワークショップ

3年次から就職希望者を対象にして、求人概況、応募手続、活動方法などについてガイダンス、就職対策講座、ワークショップを開催します。「就活手帳」や各種資料も配布しますので出席してください。

資料コーナー

キャリア支援課の資料コーナーには会社四季報、就職四季報その他最新の就職参考資料を備えており、その多くが貸出可能です。進路選択のために活用してください。

PORTAによる就職情報の提供

PORTAの「学生メニュー>キャリア支援・就職支援」から、就職関連の情報を得ることができます。企業から大学に直接届く求人情報や、先輩が作成した就職活動体験記は、就職活動を行っていく上で貴重な情報源となります。

求人先企業の紹介

大学に申し込みのあった企業の求人申込書は、PORTAに掲載します。求人内訳欄に「学部」「大学院」「外国人留学生」等の項目がありますので、求人の有無を確認してください。

障がいや病気等で就職に関して不安のある人は、早めに、遠慮なく窓口へ相談に来てください。個人の秘密は厳守します。

● 応募手続きの概要

求職登録

大学の情報等を利用して就職しようとする学生は、職業安定法第33条の2により全員、求職登録をしなければなりません。PORTA「進路希望調査」画面に従って希望を入力し、求職登録を行ってください。求職登録は就職支援のための基礎資料であり、就職指導および学内選考の際の参考資料となります。求職登録を行わない学生に対しては、就職支援、紹介状の発行ができません。

会社訪問(OB・OG訪問)

会社案内や資料だけでは、会社の実態や労働環境などは、なかなか読みとれません。先輩に直接話を聞いたり、先輩がいない場合には、人事担当者に問い合わせ会社訪問を行うなど、積極的に会社を研究することが大切です。キャリア支援課にて、過去5年分の企業別卒業生名簿を閲覧することができます。

企業説明会

最近の採用活動は、ほとんどの企業で会社説明会への出席が選考の前提条件となっています。本学では、文系・理系採用企業年間約300社が参加する企業説明会を開催しています。積極的に参加し、企業の採用・選考情報を収集してください。

学外で行われる会社説明会の案内は求人申込書と同様にPORTAに掲載しますので、興味のある企業には指定された方法で予約して参加してください。

自由応募と学校推薦応募

応募方法には「自由応募」と「学校推薦応募」があります。

「自由応募」とは、希望する学生が誰でも応募でき、企業の応募要領に従い各自直接企業に申し込む方法です。

「学校推薦応募」とは、大学に推薦依頼のあった企業に対し、大学の推薦を受けたくて申し込む方法です。推薦の種

類には「学校推薦」と「教授推薦」があり、推薦人数に制限がある場合とない場合があります。推薦応募の場合、内定辞退は決して認められませんので、慎重に応募してください。

学内選考

「学校推薦応募」など、受験者の人数枠が設定された求人の場合は、学内選考のうえ、推薦学生を決定します。学内選考は、応募者の成績や適性を考慮して行います。

応募書類

求人先に提出する書類は特に指定されない限り、原則として次のものがが必要です。

1. 履歴書・自己紹介書(本学指定・写真添付)
2. 学業成績証明書
3. 卒業見込証明書
4. 健康診断証明書

これらの書類の提出、特に郵送する場合は締め切り日ぎりぎりではなく、できるだけ早めに提出するようにしてください。

1.については所定の書式をキャリア支援課Webページからダウンロードできます。

推薦状について

文系/理系で対応が異なります。

企業から「推薦状」を求められた場合は、キャリア支援課に申し出てください。

内定報告と辞退

求人先からの採用内定(内々定)をいただいたら、速やかに「進路届」で報告をしてください。また、入社を辞退する場合は、誠意をもって辞退の旨を伝えてください。

防災

1. 暴風警報発表時の授業等の措置について

尾張東部地域または同地域のいずれかの市町村に「暴風警報」または大雨、暴風、暴風雪、もしくは大雪に関する「気象特別警報」が発表された場合の授業等(定期試験を含む)の措置については、以下の措置に従います。

授業開始以降に警報の発表があった場合は、全学放送等で授業措置の情報を提供します。

なお、警報が発表されていない場合でも、気象状況が時間の経過とともに悪化し、数時間後には警報の発表が十分予測される場合は、休講の措置を行うことがあります。措置の有無については、大学公式Webページ等に掲載します。

警報発表時の授業措置について

午前6時より前に解除の場合	1時限目(9:10~)より平常どおり授業
午前6時以降午前10時より前に解除の場合	3時限目(13:35~)より平常どおり授業
午前10時以降午後1時より前に解除の場合	5時限目(17:25~)より平常どおり授業
午後1時以降に解除の場合	全時限休講
授業開始以降に発表された場合	大学の指示による

警報発表時の定期試験措置について

午前6時より前に解除の場合	1時限目(9:20~)より平常どおり試験
午前6時以降午前10時より前に解除の場合	4時限目(13:40~)より平常どおり試験
午前10時以降午後1時より前に解除の場合	6時限目(16:40~)より平常どおり試験
午後1時以降に解除の場合	全時限試験不実施
試験開始以降に発表された場合	大学の指示による

尾張東部地域または同地域のいずれかの市町村に警報が発表されていない場合であっても、周辺地域に発表されている場合がありますので、通学および帰宅する際には、安全確保に十分注意して行動するようにしてください。

なお、学生の居住地域ならびに通学経路上の地域に警報が発表されて帰宅が困難となった場合には、学生の求めに応じ、大学が待機場所を提供します。

参考) 愛知県内における警報・注意報や天気予報の発表区域(出典:気象庁Webページ)



2. 災害等による大規模な公共交通機関の計画運休に伴う授業等の措置について

台風の接近等により、事前に交通機関各社より、計画運休の実施のアナウンスが発表された場合、授業の休講や定期試験の延期等の措置が講じられることがあります。主に、主要な路線において大規模運休が実施される場合にこれらの措置を講じる可能性があります。措置の有無については、大学公式Webページ等に掲載します。

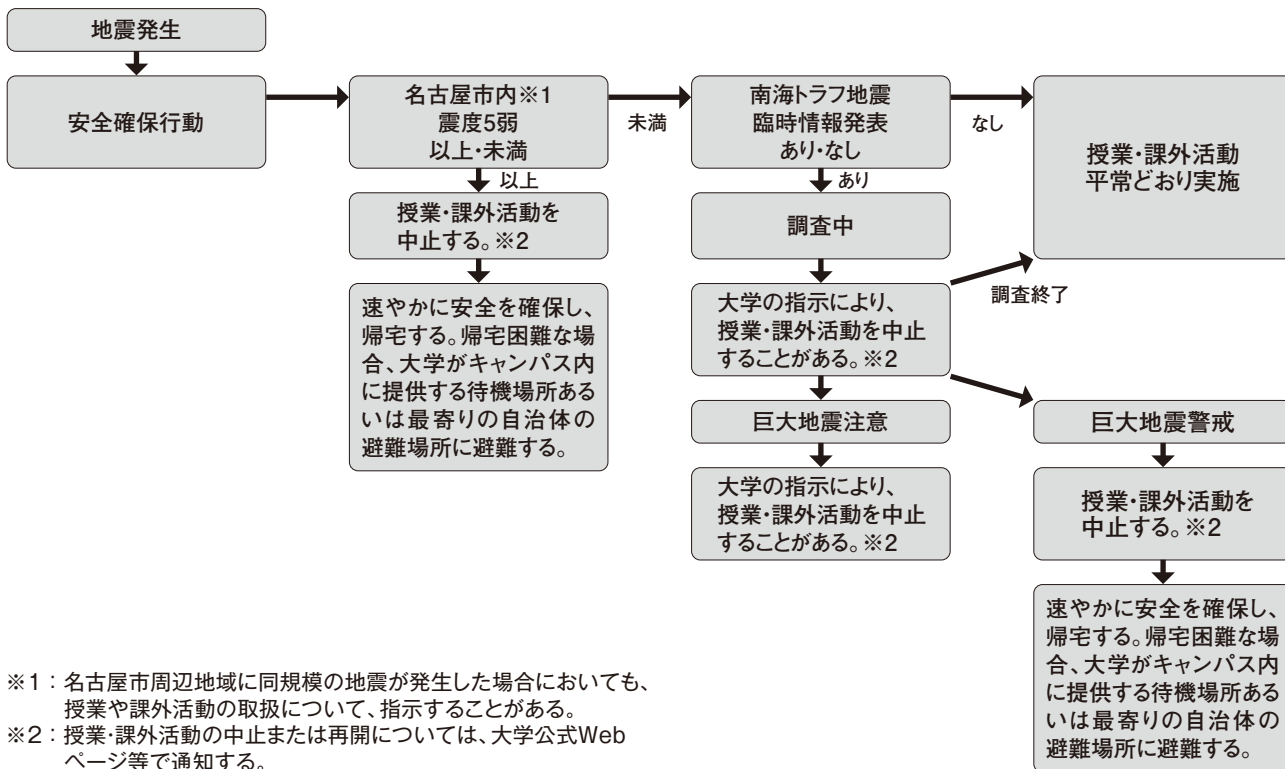
居住地域ならびに通学経路上の地域に運休等が生じる場合

も想定されます。通学および帰宅する際には、安全確保に十分注意して行動するようにしてください。

3. 公共交通機関のストライキ時の授業等の措置について

- ・名古屋市公共交通機関のストライキの場合
「暴風警報発表時の授業等の措置について」に準じる。
- ・JRおよび私鉄のストライキの場合
平常通り授業

4.地震発生時の対応について



※1：名古屋市周辺地域に同規模の地震が発生した場合においても、授業や課外活動の取扱いについて、指示することがある。
 ※2：授業・課外活動の中止または再開については、大学公式Webページ等で通知する。

5.地震の発生および緊急地震速報が発報された場合の避難行動

本震はおおむね1分以内です。学内の建物は耐震設計となっており一般に予想されている地震の際は、建物内の方が安全です。揺れている間はむやみに外へ飛び出さず、次のような方法で避難してください。本震後の余震を考えて落ち着いて行動してください。

6.緊急地震速報装置の設置について

南山大学では、学生の皆さんの安全の確保と地震の被害を最小限度に食い止めるため、キャンパス内各所、交流会館、学生専用マンションに緊急地震速報装置を設置しています。緊急地震速報放送後地震の強い揺れが来るまでは数秒～数十秒しかありません。その短い間に身を守る行動ができるよう、常に心の準備をしておく必要があります。

地震の発生 緊急地震速報の発報	ゆれが収まった後	避難・安全確認後
身の安全確保を最優先にする	避難経路に従い、避難場所に避難する グラウンド、パルクエア	災害対策本部からの指示を待つ
<ul style="list-style-type: none"> ◎教室・研究室・事務室・食堂など室内にいる場合は、慌てて外へ飛び出さず、頭を保護し、机の下に身を隠す。 ◎体育館・廊下・階段など、落下物から身を隠すものがない場合は、ガラスなどの落下物に注意し、できるだけ中央に伏せる。 ◎図書館・部屋などでは、棚から離れる。 ◎屋外にいる場合は、校舎や他の建造物などの倒壊・落下の恐れのある場所から離れ、できるだけ中央に伏せる。 ◎プール内にいる場合は、直ちに上がる。特に両サイドのガラスの落下に注意する。 ◎余裕があれば、出入口や窓を開けて避難口を確保する。使用中の火を消す。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎避難経路に従い、周りの学生と協力しながら、避難場所に避難する。 ◎エレベータは最寄りの階で停止するので、すぐに降り、階段を使って避難場所に避難する。もしも、エレベータ内に閉じ込められた場合には、エレベータ内の緊急電話で連絡を取る。 ◎火災が発生した場合は、初期消火に努める。 ◎大学内の避難場所は最終ページを参照のこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎災害対策本部からの指示があるまで、避難場所で待機する。

学内で盗難・事件・事故に遭ったら

もしも学内で盗難・事件・事故に遭ったら、直ちに、学生課へ届け出てください。

学内で発生した事件や事故には、まず大学として対処し、必要に応じて、警察・消防等の公的機関による対応を要請します。したがって人命に関わる等の緊急の場合を除き、学生の皆さんが直接警察等へ通報することは、行わないでください。

窓口 学生課

遺失物と盗難防止

大学構内は不特定多数の人が出入りをしています。公共の場と同じように「貴重品は常に身につけておくこと」「所持品から目を離さないこと」など、自身の所持品は責任を持って自己管理してください。また、自転車・バイクには必ず鍵をかけ、所定の駐輪場へ置くようにしましょう。

●セーフティーボックスの使用に際しての注意

体育授業や課外活動でロッカーを使用する時は必ず施錠してください。財布等の貴重品については貴重品セーフティーボックスを利用してください。セーフティーボックスは下記の場所に設置されています。

体育センター(2階)事務室前
体育センター1階
体育館
コバン研修センター1階
クラブハウス1階

●落とし物をしたら

落とし物は、基本的に総合受付に届きますので、そちらを訪ねてください。

飲酒について —南山大学の基本方針と注意喚起—

学生による飲酒にかかわる苦情、トラブルは、少なくありません。さらに、無理な飲酒行為は、死亡事故に繋がる危険があります。そして、飲酒にまつわる社会の目は、益々、厳しくなっています。南山大学では、原則として、キャンパス内での学生による飲酒を禁止しています。そして、「人間の尊厳のために」という教育モットーを尊び、ルールやマナーを守らない飲酒について厳しく対処します。学生の皆さんは、飲酒の際に節度を保ち、決して飲酒の強要がないよう行動してください。また、20歳未満による飲酒は違法です。20歳未満が飲酒することも、20歳未満に飲酒をすすめることも許されませんので、このことを各自十分に認識して行動してください。

喫煙

キャンパス内は全面禁煙です。また大学の外周道路での喫煙は絶対にしてはいけません(喫煙禁止)。なお、喫煙は吸っている本人だけでなく、「受動喫煙」によりまわりの人の健康や環境を害する恐れがあることを、十分に認識しましょう。皆さんは、以下の3点を十分に認識してください。

- ① 大学キャンパス内は全面禁煙です。
- ② 大学キャンパス外周道路で喫煙することは禁止です。
- ③ 道路にたばこの吸い殻を捨てることは、絶対にしてはいけません。

20歳未満の飲酒・喫煙は、法律で禁止されています。

学内施設の保全と防災・防火

学内の施設や備品の使用上の注意事項

1. 施設・備品をみだりに損傷、汚損しないでください。万一、事故のあった時は、直ちに総合受付へ届け出てください。その場合、相当額を弁償してもらうこともあります。
2. 学内のあらゆる施設・空間を常に清潔に保つよう心がけてください。原則として教室内は飲食禁止です。
3. メインストリートの課外活動掲示板以外の場所において無届けて貼紙や立看板を出すことは、一切禁じられています。
4. 机・椅子等器具備品を移動させた場合は、使用后、直ちに元に戻し、整理整頓に心がけてください。
5. 防災等の特例を除き、学内での火気、火気器具および電気機器の使用は認めません。

なお、施設・備品の保全と防火・防災管理、巡視、点検、撤去は、施設課および総務課職員が行っています。

地域住民等への迷惑行為の禁止

●騒音について

地域住民に迷惑となるような「音出し」は絶対にしていただき。課外活動等における集合行事等の際の音出しは、必ず申請を行って学生課の指示に従ってください。なお、原則として、午後6時以降の屋外での音出しは認めません。

●ごみのポイ捨てについて

大学周辺でたばこの吸殻や空き缶などの、ごみのポイ捨てが散見されます。定められた分別方法に従い、廃棄してください。

●住宅街での喫煙について

近隣住宅街での喫煙は絶対にやめてください。たばこの煙が住宅に入り、洗濯物に臭いがついたり、住民の健康に害をおよぼすことになりかねません。

キャンパスマナー

●携帯電話・スマートフォンの使用

授業中はもちろんのこと、各事務室の窓口や図書館、食堂、談話室などで使用すると他の人の迷惑になることがありますので、場所をわきまえて使用しましょう。

●ごみの処理

大勢が生活をするキャンパスでは、毎日大量のごみが捨てられます。きれいなキャンパスを保つためにも、一人ひとりができるべくごみを減らすよう心がけ、ごみが出た場合はポイ捨てをせず、分別をして所定のごみ箱に捨てるようにしましょう。

●食堂の利用

キャンパス内には大人数が収容可能な食堂がありますが、昼休みには混雑して席を確保できない場合があります。一人でも多くの方が快適に食事ができるように、混雑時には食事が済んだらすみやかに席を譲るようにしましょう。

昼休みには、S21、S22、B11、B31、DB1、G25、G26、G27、G28、G30教室を昼食場所として開放しています。ただし、行事等で使用できない日もあります。

「悪徳業者」「マルチ商法」による被害に遭わないために

学生から個人情報を聞き出し、高額商品や資格講座受講の契約をさせるような勧誘を行う「悪徳業者」は後を絶ちません。過去にはキャンパス付近で「英会話スクール」を名乗って学部・学科・電話番号を聞き出す者が現れ、学生に対し「就職に役立つ情報があるので会社に来るように」などとしつこく勧誘をしていました。

また、友人や知人を勧誘して商品購入の契約を結ばせる「マルチ商法(ネットワークビジネス)」による被害も毎年のように発生しています。本学でも高校時代の同級生など、学外の友人から誘われるケースが見られました。

このような被害に遭わないために、以下の点に注意するよう心がけましょう。

- ・悪徳業者は様々な手口で個人情報を入手し、巧みに勧誘を行うため、不審だと思われる者には絶対に個人情報を教えないようにする。
- ・「勝ち組になる」「人生が変わる」など、将来の成功を約束するような甘い言葉には惑わされない(特に新入生、および就職活動をしている学生は要注意)。
- ・親しい人からの誘いでも、怪しいと思ったら毅然とした態度で断るようにする。

さらに、勧誘を受けて困ったり被害に遭ったりしたときは、学生課へ相談してください。また、商品の購入契約をした際、場合によってはその契約の取消が可能となる「クーリング・オフ制度」があります。詳しくは消費生活センターに問い合わせてください。

なお、キャンパス内で勧誘を受けたり見たりした際は、直ちに以下へお知らせください。

総合受付 Phone 052-832-1111

悪質な宗教団体からの勧誘

最近悪質な宗教団体などに関するトラブルが大きな社会問題になっています。そういった団体はSNS等を利用し、「一緒に〇〇をやりませんか?」など、悪質な宗教団体であることを隠し、あたかも学内サークルの勧誘のように近寄ってくるようです。その会員になると、マインド・コントロールにより様々な活動を強制させられたり、多額の献金を要求されることがあります。それによって人生が台無しになってしまうことも考えられますので、十分注意してください。

なお、勧誘を受けたり、何らかの情報を得た場合は、学生課までお知らせください。

学生ローン・クレジットカード使用の注意

いわゆる「学生ローン」は、学生証だけでお金が借りられるなど利用手続きが簡単なため、安易な気持ちで利用する人が少なくないようです。しかし、高金利支払により借金が雪ダルマ式に増えていくことから、返済のために別のローンを組み、最後には自己破産、ということにもなりかねません。また、クレジットカードはサインひとつで簡単に取引ができますが、多額のお金を借りたり高額な品物を買ったため、後になって

支払いができずに困ってしまうケースもあります。

ローンやクレジットカードはよく考え、慎重に利用するように心がけましょう。

ひとり暮らしに関する注意

大学生になり、親元を離れて初めてひとり暮らしをする人も多いかと思えます。学生のひとり暮らしは何かとトラブルに巻き込まれることが多いため、以下の点に十分注意しましょう。

- ・ストーカーなどの被害に遭わないために、夜道のひとり歩きをしない。
 - ・むやみに住所や電話番号を他の人に教えない。
 - ・施錠、戸締りはしっかり行う。
 - ・不審な訪問販売には気をつける。(「管理人から依頼されて来ました」などの言葉には要注意)
 - ・ゴミは決められた収集日に分別をして捨てる。
 - ・実家にはこまめに連絡をする。
- なお、引っ越しをして住所や電話番号を変更した場合は、必ず「PORTA」から変更を行ってください。

●愛知県警察

「女性のみなさん、気をつけて！」

<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/shijo/josei.html>



薬物使用に関する注意

ハーブやアロマオイル、バスソルトやビデオクリーナーなどと、一見すると人体に無害な製品を装って、麻薬や覚醒剤以上に有害かもしれない薬物が、「合法」や「脱法」といって売られています。それら危険ドラッグを、繁華街にある店や自動販売機、インターネットなどで購入して、吸ったりのんだりしたことで、意識障害、嘔吐(おうと)、けいれん、呼吸困難などを起こして、重体に陥る事件や死亡する事件が起きています。危険ドラッグの多くは、麻薬や覚醒剤によく似た合成薬物を植物片に混ぜたり、水溶液で溶かして液体にしたり、粉末にしたりしたものです。麻薬や覚醒剤の化学構造のほんの一部を変えることで、「麻薬や覚醒剤ではない」とされてきましたが、実は麻薬や覚醒剤と同様の作用をもたらす、非常に危険な成分が含まれています。それどころか、化学構造を変えたことで、麻薬や覚醒剤以上に危険になっていることもあるのです。

「一回なら大丈夫」「いい気分が味わえる」「イヤになればすぐ止められる」などと誘われるかもしれませんが、絶対に手を出してはいけません。その場のノリや無責任な誘いかけ、好奇心に流されないようにしましょう。甘い誘いがあっても、決して近づかないことです。危険ドラッグは、持たない、もらわない、買わない、使わないことが大事です。

●愛知県警察

「危険ドラッグは、大変危険です！」

<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/soshiki/yakuju/dappou.html>



海外へ渡航する際の注意

留学や海外短期プログラム、ゼミ等での研修旅行、個人での海外旅行等、学生が海外へ出かける機会が増えています。

しかし、地震、津波等の自然災害や紛争・テロ等の危険、感染症、盗難など海外においてトラブルに巻き込まれることも少なくありません。

海外においては「自分の安全は自分で守る」ことが大前提です。以下の点に注意しましょう。

- ・渡航中の日程、滞在先、連絡方法を家族や保証人に必ず伝えること。
- ・事前に現地の情報を十分に調査・収集し、渡航中も情報収集を怠らないこと。
特に渡航先の日本大使館・領事館の情報は必ず確認すること。
- ・外務省が実施している渡航登録サービス「たびレジ」(滞在中が3か月以上の場合是在留届)に必ず登録すること。
- ・ケガや病気、荷物の盗難等に備え、海外旅行保険に加入すること。
- ・その国や地域の文化や習慣を理解し、法律を遵守すること。
- ・危険な場所を避け、夜間の外出は控えること。

海外へ渡航する際は、どのような理由であれ「海外渡航届」を大学に提出してください。

窓口 学生課

●外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>



ソーシャルネットワークサービス (SNS) を利用する際の注意

TikTokやYouTube、X (旧Twitter)、LINE、Instagramなどは、友人同士の連絡やコミュニケーションを取るツールとして広く利用されています。便利な道具である一方で、使い方を誤ると多くの人に迷惑をかけたり、ときには犯罪に巻き込まれる場合もあります。また、悪質なものについては、大学からの指導・処分(停学・退学等)の対象となる可能性があります。場合によっては、名誉毀損の罪に問われることもあります。利用する際には、以下のような点に十分注意しましょう。

SNSには以下のような特徴があります

- ・情報の伝わるスピードが速い。
- ・一度SNSに掲載した情報は永久に残ってしまう
- ・情報は公開されて全世界の人に見られる可能性がある

1. プライバシーには十分注意する

SNSは閉鎖された空間ではなく、全世界の人が誰でも見ることができるものです。たとえ、友人とのやり取りであったとしても、運転免許証を撮ってSNSに掲載したり、自宅やアルバイト先がわかってしまうような情報を掲載すると、瞬く間に個人情報が拡散することになり、悪意を持った第三者から攻撃を受けるなどの思わぬトラブルを招きます。また、友人との写真を無断で掲載することも、プライバシーの侵害にあたります。

2. 虚偽の内容や不適切な内容を掲載しない

「有名人の名を騙って偽の投稿をする」「アルバイト先の食材を使った不適切な行為を写真に撮って掲載する」などの行為によって、あっという間に情報が拡散してしまい、手に負えなくなるという事例がいくつも報道されています。SNS上で目立ちたいという気持ちから虚偽の内容を掲載することが、重大な問題に発展し、訴訟を起こされるケースも実際に起きています。

3. 誹謗中傷は行わない

SNS上の場合、普段面と向かって言えないような言葉でも発信できるという気持ちになりがちです。こういったやり取りが原因でSNSから現実でのトラブルに発展することもあります。匿名だからと、面識がない人への誹謗中傷や攻撃を行った場合でも、IPアドレスなどの情報から個人を特定することは可能です。インターネット上で安易に他人への誹謗中傷や無責任なうわさ、プライバシー情報を流すことは人権侵害につながり、場合によっては、名誉毀損の罪に問われることはあります。

トラブルになりそうな場合や、嫌がらせなどの被害に遭った場合は、学生課へ相談してください。また、インターネット上の人権侵害については、法務省でも問い合わせを受けています。

窓口 学生課

●総務省

「インターネットトラブル事例集」

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/



●法務省 人権相談

https://www.moj.go.jp/JINKEN/index_soudan.html



3

施設ガイド

大学内施設

キャンパス校舎
総合受付
本部棟
C棟
食堂・コンビニエンスストア・書店など
教室棟
S棟
昼食利用可能な教室
人類学博物館(R棟地下1階)
L棟(ヒルシュマイヤー記念館)
第1研究室棟
第2研究室棟・N棟
リアン
R棟
南山大学ライネルス中央図書館
J棟
D棟
F棟
K棟
A棟(法科大学院棟)
クラブハウス・第2クラブハウス・リアンクラブハウス
コパン(学生会館)
Q棟
体育施設
ロゴセンター(キリスト教センター)
茶室
グリーンエリアとパッセスクエア
研究所等

その他の施設

南山大学の研修施設
同窓会
神言神学院
南山アーカイブズ

キャンパス校舎

1964年、昭和三軒家町から山里町の新校舎に移転したのが、現在のキャンパスのはじまりです。総合計画は、チェコ生まれのアメリカ人建築家アントニン・レーモンド (Antonin Raymond 1888-1976) の設計によるもので、竣工時に日本建築学会賞 (作品) を受賞しました。その歴史的・文化的価値の高い建物と景観は現在も継承されています。

2017年度からレーモンド・リノベーション・プロジェクトとして、既存教室等の改修、学生の居場所となるセミナー室等の整備、意匠性を維持するための外装改修、キャンパス内のユニバーサル化を行い、2024年には日本建築学会賞 (業績) を受賞しました。

総合受付

大学正門を入ってすぐ右側の建物が総合受付です。警備員が常駐し、構内案内、出入りする車輛のチェック、鍵の保管、遺失物・拾得物の取扱いなどを担当するほか、種々の問い合わせにも応じています。

本部棟

総合受付に隣接する3階建ての建物が本部棟です。

1階には入試広報・高大連携課、入試運営課、2階には教学企画課、研究推進課、補助金課、会議室などがあるほか、1階と2階の両階に総務課があります。

C棟

地上3階建ての建物です。1階に食堂、2階に学生課、3階に教務課があります。

食堂・コンビニエンスストア・書店など

各店舗の営業日・営業時間等に関する詳細については、PORTA等でお知らせしますので、確認してください。

● 食堂等

リアン	2階	リアンカフェ	月～金 11:15～14:00 (営業終了後～20:00 談話室として開放) 土 休み (8:00～20:00 談話室として開放)
C棟	1階	SWEETS MAGIC Lab.	月～土 11:00～17:00 (営業終了後～20:00 談話室として開放)
S棟	3階	BISTRO CEZARS	月～金 11:00～14:00 (営業終了後～20:00 談話室として開放) 土 休み
体育センター	2階	第3食堂	月～金 11:00～15:00 土 休み

コバン	2階	咖喱日和 南山大学店	月～金 11:00～17:00 (営業終了後～20:00 談話室として開放) 土 休み (8:00～20:00 談話室として開放)
		CEZARS CAFE	月～金 10:00～17:00 土 休み

● コンビニエンスストア

コバン	2階	ローソン 南山大学店	月～土 8:00～20:00
S棟	2階	ローソン 南山大学S棟店	月～土 8:00～20:00

● 書店

コバン	3階	紀伊國屋書店	月～金 9:45～17:15 土 休み
S棟	2階	丸善 キャンパスショップ	月・火・木・金 10:30～15:30 水 10:30～14:00 土 休み

● 厚生サービス・南山グッズ販売

コバン	3階	NES 南山大学店	月～金 10:00～16:00 土 休み
-----	----	--------------	-------------------------

● プrintセンター

本部棟	1階	ウエルオン	月～金 9:00～17:30 土 休み
-----	----	-------	------------------------

教室棟

教室棟は主として正課の授業と大学主催の諸行事に使用されます。学生の皆さんの課外活動でも正課の授業等に支障をきたさない範囲で使用できますが、その場合は次の各事項を必ず遵守してください。

- 課外活動等で使用したい場合は、使用予定日の1週間前までにC棟2階学生課にて教室予約の手続きをしてください (使用可能な教室は学生課Webページ (課外活動ハンドブック) でご確認ください)。
- 課外活動等で教室を使用できる時間
 - ・ 平日 12:50～13:30
 - ・ 平日の正課による教室使用終了後～18時50分まで
 - ・ 休日に使用する場合9時～16時50分、H棟のみ18時50分
- 他の人の学習や課外活動を妨げるような行為、品位を損なうような行為などは、厳に慎んでください。
- 使用後は教室内の机・椅子等を元の位置に戻し、次の授業に支障のないようにしてください。
省エネルギーのため、最後に教室を退室する場合は、空調設備や照明の電源を切るように心がけてください。
- 特に許可された場合以外、次の行為は禁じられています。

1. 教室内での飲食
2. 楽器の練習や球戯
3. 電気器具の使用

- (6) 屋上への立入は安全管理上、禁じられています。

S棟

地上7階建ての建物です。研究室棟(北側)と教室棟(南側)があり、1階に理工学部事務室、会議室があり、3階に情報センター事務室、情報センターTA室があります。1階～5階に学生研究室、2階にロッカースペース、3階にラーニング・コモンズがあります。また、2階にコンビニエンスストアと書店、3階に食堂があります。

●研究室棟

以下の時間帯で使用することができます。

7:00～23:00

ただし、月～土の22:00以降および日・授業のない祝日・事務休業日は、研究室棟1階入口(サブエントランス)からのみの入構となります。

※研究室棟1階入口(サブエントランス)はICカード利用となります。
(ICカードは理工学研究科の大学院生、理工学部の3年次以上の学部生に配付)

昼食利用可能な教室

お昼時の学生食堂は混雑します。お弁当を持ってきた場合は、以下の教室をご利用ください。

- S21 (S棟2階、ローソン前)
- S22 (S棟2階、ロッカー室前)
- B11 (B棟1階)
- B31 (B棟3階)
- DB1 (D棟B1階、コパン前)
- G25 (G棟1階、G28の奥)
- G26 (G棟1階、G27の奥)
- G27 (G棟1階、G30向かい側)
- G28 (G棟1階、G30向かい側)
- G30 (G棟 メインストリート付近)

[昼食利用可能時間 12:45～13:25]

人類学博物館(R棟地下1階)

1949年に人類学民族学研究所に設置された陳列室に始まる当館は、1979年に「南山大学人類学博物館」となりました。そして2013年10月、R棟地下1階にリニューアルオープンしました。当館は、全ての人の好奇心のためにをモットーに“ユニバーサル・ミュージアム”を目指しています。考古資料・民族誌資料・現代生活史資料を展示しており、これらの資料は自由にさわることができます。古今東西のコレクションをじっくり堪能してください。

博物館の多種多様なコレクション

人類学博物館に収蔵・展示されている資料は、国内外の考古・民族誌資料が中心です。これらの資料の中にある、考古学者・人類学者であった神言修道会の神父によって蒐集された、ヨーロッパの旧石器資料、パプアニューギニアの民族誌資料、関東地方の縄文時代遺物などは出色の資料群です。

この他にも、名古屋市指定文化財の大須二子山古墳出土資料、上智大学寄贈のタイ山地民の民族誌資料のほか、研究者や個人コレクターの蒐集による民族造形、現代生活史資料など、多種多様なコレクションを展示室でご覧いただけます。



開館日：火曜日～土曜日 10:00～16:30
休館日：日曜日・月曜日・毎月最終水曜日13:00以降
(メンテナンス休館)
大学事務休業日(夏期休業、年末年始、クリスマス)、
大学入学試験期間 等

※開館日時は変更となる場合がございます。最新情報についてはHPをご確認ください。

入館無料

人類学博物館Webページ≫

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/museum/>

*Webページでは、企画展、博物館講座など、各種イベント情報を随時ご案内しています。是非ご覧ください。



人類学博物館公式Instagramも
ご覧ください。

<https://www.instagram.com/nanzan.u.museum/?hl=ja>



L棟(ヒルシュマイヤー記念館)

2階には、視聴覚教育センター、人事課があります。

第1研究室棟

地上6階、地下1階の第1研究室棟には専任教員の各研究室と非常勤教員用の講師控室(1階)があります。講師控室は学生の無断入室は厳禁です。用事がある場合には1階の受付窓口で手続を行ってから入室してください。



第2研究室棟・N棟

パッヘスクエアの東隣にある各棟3階建ての建物が、南側から順に、第2研究室棟とN棟です。1階にはラーニング・コモンズ、2～3階にはセミナー室があります。

リアン

1階がクラブハウス、2階が食堂になっています。フランス語で「縁、絆、つながり」を意味する名称は、学生・教職員の応募の中から決まりました。クラブハウス前のピロティや食堂のデッキなど、学生の交流の場が広く設けられています。

R棟



語学教育・国際交流の拠点として、国際センター事務室、外国語教育センター、ワールドプラザ、多文化交流ラウンジ、ジャパンプラザなどの施設が集約されています。また、大学正門からすぐという立地を活かし、500名収容可能な「フラッテンホール」や「人類学博物館」など、学外の方の利用も可能な施設を備えています。

国際センター事務室

海外への留学希望者や諸外国からの留学生に対する支援を全面的に行っています。国際センターでは、世界中の協定校や、各国・地域への留学を希望する学生に対して、各種ガイダンスをはじめ、留学に関する手続きや相談に応じています。また「外国人留学生別科」においては、日本語および日本研究に関する科目を開講し、毎年約30の国と地域から留学生を受け入れています。



その他、本学の学部や大学院で学ぶ外国人留学生に対する生活支援や留学生と日本人学生が共同生活を送る国際学生宿舎の入居に関する諸手続きも行っています。

外国語教育センター

外国語教育センターでは、共通教育科目の外国語科目を運営しています。学生の皆さんがより質の高い外国語教育を受けられるように、授業内と教室外の両面にお



けるサポートを提供します。ワールドプラザは外国語だけでコミュニケーションを図る施設で、多くの学生が楽しく交流をしています。教材やDVDも揃っており、各種イベントも開催されます。

礼拝室

多様な文化・宗教的背景を持つ学生および教職員が、安心して祈りを捧げられる場を提供するため、R棟6階に礼拝室と清めの場を設置しています。



南山大学ライネルス中央図書館

正門から入りメインストリートをまっすぐ進んで左手にあるのが図書館です。教育・研究など学術の中心となる地上3階、地下2階の施設で、現在、約77万冊の図書と1万5千タイトルの学術雑誌を所蔵しています。電子ブック・電子ジャーナル・データベースなどの利用も可能です。



利用については、図書館Webページを参照してください。

「であう」「つながる」「かわる」
<https://office.nanzan-u.ac.jp/library/>



J棟

F棟西側に隣接する地下2階地上8階建ての建物です。地下1階には地域研究センター（アメリカ研究センター、ラテンアメリカ研究センター、ヨーロッパ研究センター、アジア・太平洋研究センター）、社会倫理研究所があります。また、地下1階～地上2階にはセミナー室があり、4階および6～8階には専任教員の研究室があります。



D棟

J棟と南側で連結し教室、研究室、事務室などが配置された地下1階地上7階建ての建物です。地下1階には300名収容の大教室、1階には保健室、2階には学生相談室、大学生生活支援室、学生交流センター、3階には教職センター、5階までは小教室、多目的教室、実験室等様々な教室が準備されています。また、6階および7階は会議・合同研究室や個人研究室、人間関係研究センターとなっています。

学生交流センター(D棟2階)

「関わりあい、教えあい、学生相互の支援活動と協働活動の創生」という理念のもとに、学生交流センター「CENTRUM(セントルム)」が、設置されています。

学生交流センターは、「学生の皆さんが集いやすい雰囲気作り」をコンセプトに、より豊かなコミュニケーションが図れるスペースの提供を目指しています。

現在、学生交流センターを拠点に、コア・グループとよばれるグループが形成され、学生同士が交流できる機会を提供し、サポートしています。また、学生交流センターには学生スタッフがおり、学生の皆さんの相談にのったり、イベントや活動を企画して、学生支援の一端を担っています。



ランチトーク

開室時間:9:00~20:30(授業期間のみ)

※月~金曜日のお昼休みには学生スタッフが常駐します。

E-mail: n-ctm@nanzan-u.ac.jp

教職センター(D棟3階)

教員免許状取得を目指す学生の皆さんへのサポートを充実させるため、D棟3階に教職センターを開設しています。



(活動風景写真) 採用試験の面接練習

教職センターには専任教員だけではなく、非常勤相談員(水曜午後)や大学院生のティーチングアシスタントが、教職進路相談、小論文指導、面接指導などの各種キャリア支援を行っています。

また、教職センターの自習スペースは、教員採用試験に向けた筆記試験の勉強をしたり、教員を目指す学生が集まって採用試験に向けて情報交換や面接練習をしたりするなど、活発に活動できる場となっています。

1年生から利用できますので、将来教員を目指す人は、ぜひ気軽に足を運んでください。

F棟

2~3階にはセミナー室があります。

K棟

地下1階~地上3階にはセミナー室があります。

地下2階にはロッカー室があります。

A棟(法科大学院棟)

地上7階建ての建物です。1階には合同研究室、2階には名古屋高等裁判所をモデルに作られた模擬法廷、5階には40人教室を4室、3~4階には80人教室を4室、学生研究室13室を準備、6~7階には教員研究室40室が配置されています。



クラブハウス・第2クラブハウス・リアンクラブハウス

クラブハウス内には、課外活動のためのクラブ部室と会議室があります。(使用可能時間 8:00~21:00)

- 1.部室は、大学が認めた課外活動登録団体に貸与し、各団体で管理しています(年度更新)。
- 2.部室を使用する際は、退室時に消灯と、窓や扉の施錠を忘れずに行ってください。
- 3.鍵が必要な部屋は、解施錠毎に、総合受付で学生証を提示して、鍵を借りてください。

コパン(学生会館)

体育センター東隣の食堂・書店・コンビニ(P.50参照)および研修センター(P.58参照)のある棟がコパン(学生会館)です。名称は学生の応募の中から決まりました。

2階、3階には学生ラウンジとしての共用スペースがあります。(利用時間 8:00~20:00)

Q棟

地上7階建ての建物です。1階にはロッカー室、2階にはキャリア支援課、全学生が利用できるラーニング・commonsがあります。また、4階にはセミナー室、5階には総合政策学部長室、総合政策学部事務室、合同研究室、会議室があり、7階には国際教養学部長室、国際教養学部事務室、合同研究室、会議室、GLSラーニング・commonsがあります。

ラーニング・commons

ラーニング・commonsは、学生の自主的な学び(アクティブ・ラーニング)を促進するために学内各所(Q棟、S棟、図書館、第2研究室棟、N棟)に整備されています。どのラーニング・commonsもグループ学習がしやすい空間になっており、調べたい情報を即時に検索・活用できるようBYOD(Bring Your Own Device)に対応した無線LANを整備しています。なかでもQ棟2階のラーニング・commonsは、キャンパスのグローバル化に対して質的変革を起こすことを目指して整備された学内最大のラーニング・commonsでメインストリートからアクセスしやすく、多くの学生や教職員が集う学びの場所となっています。

体育施設

大学行事、体育実技の授業および体育系クラブの練習に支障のない限り使用できます。

●スポーツサービスルーム(SSR)



全学生および教職員のスポーツ活動のために様々なサービスを提供することを目的とした組織です。トレーニングルーム(TR)の個人利用希望者は、TR講習(Web Class)を受講することで許

可証の発行を受け利用が可能になります。その他、課外の運動のための機会や情報を提供しています。窓口は体育センター2階(地上階)です。

大学祭期間中にはスポーツ大会が開催されます。詳しくはSSR窓口でお尋ねください。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/sports-services/>



体育館・体育センター(メインアリーナ、多目的ホール、剣道場、卓球場、柔道場、ラケットボールコート、トレーニングルーム)・テニスコート(西)

授業および体育系クラブにより施設毎に利用スケジュールが組まれています。当日、施設が空いている場合はクラブに所属していない学生も利用可能です。利用の際は、スポーツサービスルーム(SSR)へお問い合わせください。なお、原則として体育施設の予約はできません。トレーニングルームの利用はSSRへお問い合わせください。テニスコートご利用の際は正門「総合受付」へお申し出ください。

人工芝グラウンド

2019年3月に人工芝グラウンドを整備しました。利用の際は、芝生を傷つけないようにヒールの靴で立ち入らない、靴の汚れをマットで落としてから使用する、飲食はしないなど、グラウンド入口に掲示されている注意事項を遵守してください。こちらは授業および体育系クラブにより利用スケジュールが組まれています。

プール

体育センター内にあります。プールを使用する授業・課外活動団体練習日、公式試合等に使用される場合を除き、一般学生も使用できます。利用時間帯についてはプール受付またはPORTAで確認してください。

学生	10:30~21:00 (月・火・金)
	10:30~18:30 (水・木)
	12:00~20:00 (土曜日)
	なし (日・祝祭日)

ロゴスセンター(キリスト教センター)

キリスト教センターは、キャンパス東門横にあり、2017年4月に設立されました。キリスト教センターは、学生・教職員、地域社会やキリスト教教会など様々な人々との結びつきの中で、宗教心を養い育むためのキリスト教活動全般を推進し、キリスト教を学問的に学ぶことに留まらず、「実践的な活動の場」を提供することで、様々な体験を通して人材育成に貢献することを目的に活動しています。建物の名称は「ロゴスセンター」といい、学生の課外活動、国際ボランティアの活動拠点として、また、キリスト教関連の講座、宗教に係わる講座を開催し、南山大学生や教職員等が利用できます。

●キリスト教センター講座

◀キリスト教関連▶

「青年のためのキリスト教入門(アルファコース)」
「Bible Studies」

◀文化音楽関連▶

「フランス語」「Reading Novels in English」
「スペイン語」「英語」
「ルネサンス音楽講座・フランスバロック音楽講座」

●南山エクステンション・カレッジ講座

「パイプオルガン」「墨を愉しむ」

●国際ボランティア活動



ボランティア活動を行う学生課外活動団体が、活動の場所として施設を使用しています。

●チャペル

地下にはチャペルがあり、毎日ミサがささげられています。また、結婚式を挙げることもでき、卒業生の方々に喜ばれています。



●ミサの時間

言語	曜日	開始時間
日本語	月曜日~土曜日	8時
スペイン語	第1日曜日	11時
インドネシア語	第2日曜日	11時
フランス語	第3日曜日	10時

・ミサ@NANZAN

授業期間中(テスト期間除く)の毎週水曜日
12時50分~ 開催

※変更する場合があります。事前にキリスト教センター事務室までお問い合わせください。

●施設の利用

ホール、教室、食堂があります。

●図書の閲覧・貸出

キリスト教関係を中心とした図書の閲覧および貸出をしています。

詳細はキリスト教センター事務室までお問い合わせください。

Phone 052-833-3110

E-mail: christian-c@nanzan-u.ac.jp

ロゴスのシンボル・マーク



ロゴスセンター入り口付近の壁に刻まれているこのマークはギリシャ語のロゴス(ΛΟΓΟΣ)と英語のセンター(CENTER)という文字を組み合わせたもので、中央部に十字架が配されています。ロゴスという語は、一般に言葉や思想を意味します。イエス・キリストを意味することもあります。

■指導司祭(チャプレン)

チャプレン(Chaplain)とは、チャペル(祈りの場所)で働く人のことですが、本学では教育モットー「人間の尊厳のために」(HOMINIS DIGNITATI)の実現を目指し、3名のカトリック司祭の教員が、学生を教える傍ら指導司祭(チャプレン)として働いています。

■キャンパス・ミニストリー

キャンパス・ミニストリー(Campus Ministry)とは、大学キャンパス内で指導司祭によって行われるスピリチュアル・ケアの事です。キリスト教センターで行われるミサや、キリスト教・聖書講座もその一環で、キリスト教センターの講座のほとんどは無料で、どなたも参加できます。

茶室

2棟の茶室は、1966年神言会創立90周年を記念して南山大学友の会と後援会の尽力により、郷土が生んだ江戸時代の俳人横井也有ゆかりの「也有の席」と旧名古屋茶道クラブの「方寸庵」を、名古屋市東区の旧所在地から解体移築したものです。



グリーンエリアとパッセクエア

本部棟とK・M棟などに囲まれた、芝生と木立の空間がグリーンエリアです。その中心部のレンガ張りの所は、初代学長アロイジオ・パッセクエアを記念して「パッセクエア」と名づけられています。この広場の北端には、南端の噴水と向かいあって同師の記念碑が立っています。



この緑地帯は皆さんの憩いの場ですから、芝生の立入りは自由ですが、事故の防止と芝生の保全のため、ここでの球技やフリスビー、机・椅子・ベンチなどの搬入、グループでの専有は、学生部長が特別に許可した場合を除き一切禁じられています。

研究所等

人類学研究所

人類学という名称を冠する日本では数少ない本研究所は、神言会員でアントロポス研究所(現ドイツ)のW・シュミット博士の系譜を継承すべく1949年に設立されました(1954年に人類学・民族学研究所から人類学研究所に改称)。文化人類学と考古学の融合をはかりながら、アジア・アフリカ・オセアニア・アメリカ大陸などを対象として、グローバルな視野で現在人類が直面している諸問題を根本的に検討するという目的のもと、研究活動を行っています。『年報人類学研究』、Asian Ethnology、『人類学研究所通信』といった定期刊行物の他、多くの不定期刊行物の刊行、シンポジウムや講演会の公開、共同研究会や人類学フェスティバルなどの実施を通して、学術界のみならず広く一般社会にも開かれた研究所を目指しています。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/jinruiken/>



南山宗教文化研究所

南山宗教文化研究所は、宗教・文化一般、特に日本を中心とする東洋の宗教・文化に関する学際的な研究を行い、諸宗教の相互理解の促進と研究者の養成を目的として1974年に設立されました。その目的のために、学術会議、研究会、ワークショップ、公開講座、講演会、各種セミナーの開催、目的を同じくする内外研究機関との協力、所報やBulletinなど定期刊行物の発行、Japanese Journal of Religious Studiesなどの学術刊行物の編集公刊、文献資料の収集などを行なっています。また、世界的に著名な研究者や、将来性のある優れた若手研究者を毎年のように招聘して、国際的な学術機関として高い評価に値する共同研究を積み重ねています。

<https://nirc.nanzan-u.ac.jp/ja/>



社会倫理研究所(J棟地下1階)

社会倫理研究所は、産業社会および技術文明の中で人間性が失われようとしている風潮に対し「人間の尊厳」を回復する方途を探究する新しいタイプの研究所として1980年5月に設立されました。そこで社会諸科学や倫理学・社会哲学の立場から、変わりゆく現代社会における価値と倫理の諸問題を研究すると共に、これらの問題に対する社会的関心を喚起し普及することを目指しており、『社会と倫理』と『時報しゃりんけん』の刊行をはじめ、研究会や懇話会、シンポジウムの開催等を行っています。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/ja/>



アメリカ研究センター(J棟地下1階)

アメリカ研究センターは、日米教育委員会(フルブライト委員会)の研究教育機関に対する助成計画により資金援助を受け、1976年5月に発足しました。本センターは、学内での学際的なアメリカ研究の推進と地域研究としてのアメリカ研究の教育面における寄与ならびに中部地区におけるアメリカ研究・教育の拠点としての機能を果たすことを目的とし

ており、アメリカ研究に関する文献・資料の収集およびそれらの閲覧・貸出業務、*Nanzan Review of American Studies* の編集発行をはじめ、講演会・研究会等を開催しています。

2007～11年度には、国際的催しである「名古屋アメリカ研究夏期セミナー(NASSS)」を開催してきました。

学内外の研究者の皆さんのみならず学生や院生の皆さん、研究論文や授業レポート、卒論、修士論文等の執筆の際に大いにご利用ください。また一般の方のご来訪も大歓迎です。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/america/ja/>



ラテンアメリカ研究センター(J棟地下1階)

ラテンアメリカ研究センターは1964年、外国語学部イスパニヤ科の教員有志により、イペロアメリカ研究所として設立されました。1983年4月にそれが再編成されて「ラテンアメリカ研究センター」が発足し、現在に至ります。

ラテンアメリカを専門とする研究機関は全国的に見ても少なく、中部圏では本センターが唯一で、ラテンアメリカの文化の紹介、この地域の政治・経済・歴史等々についての情報の提供、資料の収集や閲覧・貸出業務、講演会・研究会等を行っています。また、2004年度より欧文雑誌 *Perspectivas Latinoamericanas* を刊行し、2006年度より和文研究書『ラテンアメリカ研究シリーズ』を出版しています。

2015年度に文部科学省「大学の世界展開力強化事業(中南米)」が採択されて以降、ラテンアメリカの大学との質の保証を伴った人的交流は、以前にも増していっそう盛んになっています。同地域の協定校は13大学を数え、研究交流の基盤ともなっています。

本センターは本学学生を含む学内外の研究者や一般の方の、講演会へのご出席やセンター図書室へのご来訪を歓迎し、研究成果を地域社会へ還元することをめざしています。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/latinamerica/ja/>



ヨーロッパ研究センター(J棟地下1階)

ヨーロッパ研究センターは、日本とヨーロッパ諸国との相互理解に資することを目的とし、広く学際的視野に立って主として現代ヨーロッパの政治・経済・法律・文化・社会に関する研究を行い、その成果を本学における教育はもとより中部地方の地域社会に役立てることを目的として1991年に設立されました。

本センターでは次の活動を行っています。①社会科学系、人文系を問わず、ヨーロッパ研究に関する文献・資料の収集整理、およびその貸出をしています。②内外のヨーロッパ研究者を招いて公開のセミナー、研究会を開催し、広く現代ヨーロッパについての理解が普及するよう努めています。③主として現代ヨーロッパに関する諸問題につき各研究員がそれぞれの研究分野から研究報告を行い(定例研究会)、これに学内外の関心ある人(本学学生を含む)の出席を歓迎して、不断に、かつ開放的な形でヨーロッパ問題への関心の持続と研究の向上を図っています。1995年より「ヨーロッパ研究センター報」を毎年刊行しており、現在31号まで刊行されています。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/europe/ja/>



アジア・太平洋研究センター(J棟地下1階)

アジア・太平洋研究センターは、近年、日本とアジア・太平洋地域との相互交流や地域協力の重要性が高まりつつあることを背景に、2005年4月に設立されました。中国、北東・東南・南アジアを中心とするアジアと、オーストラリアを中心とする太平洋地域の政治、経済、社会、文化、歴史などの諸分野における研究を行い、南山大学と国内外の大学や各種機関との交流を深めるとともに、研究会や講演会、公開セミナー、資料の収集や貸出業務等を通じて、南山大学の学生や教職員、さらには地域の皆さんがこれらの地域に対する理解や関心を高めることができるよう、さまざまな活動を行っています。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/asiapacific/ja/>



人間関係研究センター(D棟6階)

人間関係研究センターは、広く学際的視野にたった人間関係研究に取り組むと共に、公開講座などの実践を通して、人間性豊かな社会の実現に貢献することを目的としています。センター員がそれぞれのフィールドを通して取り組む研究の成果は、研究紀要「人間関係研究」を通して公開されています。これらの研究は、従来型の客観的分析的研究にとどまらず、対人関係力・組織・人間性・社会など、幅広い分野における実践的研究の豊富さが特色です。

公開講座では、誰もが人間関係を実践的に学ぶことができる場を提供しています。

南山で伝統的に取り組んできた「ラボラトリー方式の体験学習」という学習方法を通して、人間関係への学びを深めていくことのできる講座群を展開するとともに、スタッフの専門性と特色を生かした講座も開催しています。

この他にも、公開講演会の開催、メールマガジンの発信、受託事業などを通じて、一人ひとりの存在を大切に、誰もが自分らしく生きられる人間性豊かな社会の実現に向けて取り組んでいます。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/>



言語学研究センター(L棟3階)

本学の言語学研究の伝統を背景に、アジアにおける研究拠点として2003年に設立されました。統語論、意味論、言語獲得論を中心として、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの言語学者と共同研究を遂行しています。2008年～2020年には、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業や国立国語研究所の研究プロジェクトを推進して、オックスフォード大学出版会や開拓社から刊行した論文集、専門誌 *The Linguistic Review* の特別号などに、共同研究の成果を公表しました。

また、本センターは、公開ワークショップや講演会の開催に加えて、1999年に本学で設立され、世界屈指の理論言語学会に発展したGLOW in Asia (アジア理論言語学会) の事務補助を行うなど、さまざまな形で、アジアにおける言語学研究を支援しています。活動の詳細は、本センターの定期刊行物 *Nanzan Linguistics* およびウェブページにてご覧いただけます。

■ 日本語版

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/linguistics/ja/>



■ 英語版

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/linguistics/en/>



経営研究センター(J棟7階)

経営研究センターは、経営学および関連諸分野に関する有用な学術研究を支援し、研究成果を広く社会に発信することをめざす全学研究機関です。提唱者故ヒルシュマイヤー第3代南山大学長の志を載し1983年より経営学部組織「経営研究センター」として活動を開始、1985年4月に全学組織となりました。

これまでに日加経営者セミナー(1988年)、経営学部創立記念国際会議(1995年~1999年)等の国際的プロジェクトや海外研究者の招聘を通じて、南山大学における経営学研究成果を広く海外へ発信してきました。2000年からは、当センターの最も基本となる研究支援事業「研究プロジェクト」・「ワークショップ」に絞って活動を進めています。毎年募集されるこれらの事業では、経営学部をはじめ本学教員を中心的企画立案者とする経営学および関連諸分野に関する多様な研究テーマのもとに、大学院生を含む学内外の研究者が幅広く参加し、活発な議論が展開されています。研究成果の社会発信については、経営研究センターワーキングペーパーを毎年継続的に募集・発行しています。

2010年度からは、所蔵・収集してきたアニュアルレポートやCSR報告書をはじめ経営に関わる資料を、学内教育組織・研究組織に広くに提供しています。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/m-center/>



法曹実務教育研究センター(A棟1階)

南山大学経済学部在学中に医療過誤の犠牲となり、22年に及ぶ長期療養の後に生涯を閉じられた故稲垣克彦氏のご両親、稲垣克巳・道子ご夫妻から、2006年4月、ご子息の死を無駄にしないことを念願し、医療過誤被害者の相談、救済、医療事故裁判に通暁した法曹人育成を目的とする寄付のお申し出をいただきました。

「人間の尊厳のために」を教育モットーとする南山大学では、このご寄付を「稲垣克彦基金」として受け入れ、南山大学法曹実務教育研究センターを設置しました。

本センターは、このような稲垣氏のご寄付の趣旨を踏まえ、若手弁護士の研鑽の場を提供する活動をしています。法曹とりわけ弁護士に必要な面接・交渉の技術、調査・分析能力、法廷尋問技術等を向上させるため医師模擬尋問研修を毎年実施するとともに、本学修了生である若手弁護士に向けて、各種のセミナーや講演会等を実施しています。

また、本学の法科大学院生が弁護士事務所での弁護士業務についての研鑽の機会を得る短期エクスターンシップを実施しています。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/housou/>



理工学研究センター(S棟1階)

コンピュータおよび通信・制御工学に関連する技術は驚異的な速さで進歩を遂げています。インターネットやスマートフォンに代表される現代の技術は社会の変化を加速させ、社会活動の範囲を地球規模にまで拡張させています。大学には、この急速な変化に対応し、社会に貢献できる技術者の養成が期待されています。本学では、現代社会の要請に応えるために、2000年に初の理系学部である数理情報学部を、2004年には大学院数理情報研究科を開設しました。2009

年には学部を2学科から3学科体制に改組し、名称を情報理工学部と改めました。2014年4月には、世界で通用するモノづくりを学ぶカリキュラムに改訂し、理工学部名称変更しました。大学院は2013年4月に理工学研究科に改組されています。2021年度には、理工学部の学科を改組し、ソフトウェア工学科、データサイエンス学科、電子情報工学科、機械システム工学科の4学科体制となりました。

2005年4月に、新学部・研究科と社会との連携の推進およびそれによる教育研究の活性化などを目的として、数理情報研究センターが設置されました。具体的には、(1)産学協同研究の推進(企業との共同研究、受託研究など)、(2)社会人の再教育(講演会、各種講習会、セミナーの開催)、(3)大学院の活性化(大学院生に対する奨学金事業、大学院生に対する研究発表経費補助事業)等を行ってきました。学部・大学院の改組に伴い、2014年4月に名称を改め、理工学研究センターとなっています。

<https://www.st.nanzan-u.ac.jp/center/>



※ 各研究センター所蔵の図書資料利用(閲覧・貸出)については、センター事務室でお尋ねください。

南山大学の研修施設

次の施設は本学学生、教職員を利用対象としています。
各施設の使用申請窓口や予約先は、窓口案内(P.17)を参照してください。

研修センター

所在地：南山大学コバン1階

この研修センターは本学教職員および学生の研修に資する目的で開設された施設です。正課および課外活動関係の集会や宿泊に大いに活用してください。

12人部屋9室	集会のみ	無料
大小会議室	通常期の宿泊	1人1泊 400円
	夏期・冬期の宿泊	1人1泊 500円

※夏期：7月1日～9月30日

冬期：11月1日～3月31日

●使用条件

- 1.利用できるのは、原則として学内者に限ります。
- 2.利用の際は、使用許可申請書に必要事項を記入した上で、使用日の7日前までに担当窓口へ提出し、学生部長の許可を得てください。
- 3.炊事はできません。食堂などを利用してください。
- 4.寝具の貸出を行っています(有料)。使用許可申請を併せて申し込んでください。
- 5.館内は禁酒・禁煙です。
- 6.館内の清掃と、使用後の器具・備品の整理整頓をしてください。

南山学園研修センター

所在地：〒466-0834

名古屋市昭和区広路町隼人30

Phone 052-837-6466

交通：地下鉄鶴舞線「いりなか」から徒歩6分

駐車場なし

使用料金：1泊 3,200円(食事別)より

※クラス・ゼミ等および課外活動での教職員が責任者となる
会合・合宿での利用は50%減免となります。詳しくはエヌ・イー・エスにお問い合わせください。

※事前に委託管理会社(エヌ・イー・エス)で空室状況を確認してください。

Phone 052-835-0176



伊勢海浜センター

所在地：〒516-0001

三重県伊勢市大湊町497-1

Phone 0596-36-5671

交通：近鉄伊勢市駅からバス20分、

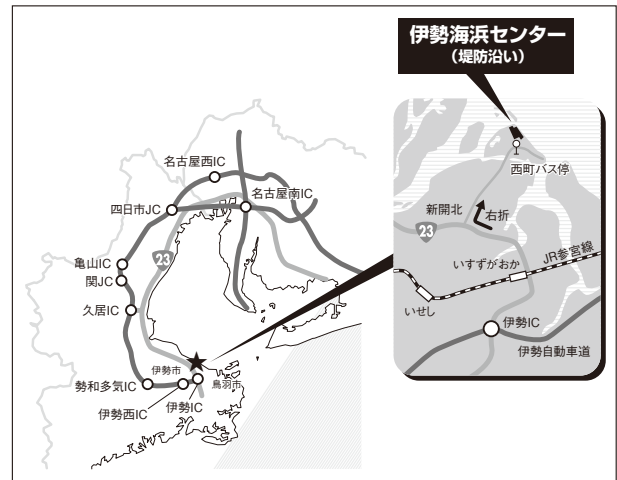
「西町」下車、徒歩7分

駐車場あり

使用料金：1泊 6,000円(朝・夕食込)

事前に委託管理会社(エヌ・イー・エス)で空室状況を確認してください。

Phone 052-832-5963



同窓会

南山大学同窓会は1952年に設立され、会員数10万人を越えました。会員同士の親睦を図りながら、母校南山大学の発展と学生の支援のため、さまざまな活動を行っております。

《本学学生のための主な活動》

- ・奨学金の授与(給付奨学金)
- ・在学学生顕彰制度(自薦・他薦により学生の活動を表彰: 報奨金・賞状の授与)
- ・課外活動の援助
- 大学祭、上南戦、受難劇、体育活動・文化活動への資金援助
- ・同窓会館の施設使用(50人収容、有料)



詳細は同窓会事務局までお問い合わせください。

同窓会事務局(グリーンエリア東 同窓会館1階)

【開室時間】 月～金 8:45～16:45

<https://dosokai.nanzan.jp/>

Phone 052-832-0772

E-mail: dosokai@ic.nanzan-u.ac.jp



神言神学院

神言神学院は、本学の設立母体である神言会が直接経営管理するカトリック司祭・修道者・宣教師の教育・養成機関で、キャンパスの東側にあります。

神言神学院図書館には、神学・哲学を中心に貴重な多数の文献が集められています。希望者はそれらを利用できます。

Phone 052-832-2082



南山アーカイブズ

南山アーカイブズは、2014年9月、学校法人南山学園の史資料保存利用施設として開設されました。所蔵史資料の閲覧・複写や展示室の見学が可能です。展示室では、神言会・聖霊会の来日から今日に至る南山学園の歩みを概観しています。

【開館時間】

月曜日～金曜日 午前10時～午後4時(閲覧室・展示室)

【休館日】

土曜日、日曜日、祝日、南山学園の事務休業日、南山大学入学試験期間

【その他】

入館料無料・予約不要

学校法人南山学園 南山アーカイブズ

〒466-0838

名古屋市昭和区五軒家町6番地(ライネルス館)

Phone 052-861-0613

E-mail: nanzan-archives@nanzan.ac.jp

Webページ: <https://www.nanzan.ac.jp/archives/>



学則・規程・ガイドライン等については学生生活(学生課)Webページを参照してください。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/>



南山大学の目的に関する規定

南山大学学則

南山大学ハラスメントに関するガイドライン

南山大学個人情報保護に関するガイドライン

南山大学学生表彰規程

南山大学学生懲戒規程

南山大学における試験の不正行為に対する懲戒内規

南山大学停学処分に関する取り扱い規程

南山大学における休学および退学に関する規程

南山大学再入学規程

南山大学学則第31条又は第34条により退学を命ぜられた者の再入学に関する内規

南山大学創立50周年記念奨学金規程

南山大学奨励奨学金規程

南山大学給付奨学金規程

南山大学友の会給付奨学金運用規程

南山大学同窓会給付奨学金規程

南山大学随時奨学金貸与規程

南山大学フライナデメッツ給付奨学金規程

南山大学課外活動取扱要項

南山大学課外活動取扱要項に係る運用ルール

課外活動団体部室管理取扱要領

課外活動団体の処分に関する取扱要領

南山大学体育館規程

南山大学体育館運営管理細則

南山大学グラウンド・コート使用心得

南山大学グラウンド照明設備の使用心得

南山大学体育センター使用についての原則

南山大学体育センター使用心得

南山大学体育施設使用上の注意

南山大学体育センタートレーニングルーム使用心得

南山大学学生歌

南山大学研修センター使用規程

南山大学研修センター使用細則

飲酒について—南山大学の基本方針と注意喚起—

学生の支援に関する方針

個別配慮を必要とする学生の支援に関する方針

南山大学学生歌(学生生活(学生課)Webページで音源等を視聴できます。)

1. 清麗八事の山近く
緑にしげき松の風
仰いで高き青空よ
正しき心の若人が
自由と平和守り行く
※ほまれはここに 我が南山
輝く母校 我が南山
2. 文化の園に競い咲く
かおりの花をしきたえに
学びて広き教養を
信ずる自己のいしずえに
誓いし務め負い行かむ
※
3. 厳しき人の世に立ちて
正しき愛の十字架を
久遠の道のシンボルと
かかげて共に若人よ
りりしく強く生きゆかむ
※

2026年3月10日 印刷

編集発行者

南 山 大 学

2026年4月 1日 発行

〒466-8673
名古屋市昭和区山里町18
学生課
電話 (052)832-3118

印 刷

アドシンク株式会社

〒460-0021
名古屋市中区平和2-9-12
電話 (052)212-9714

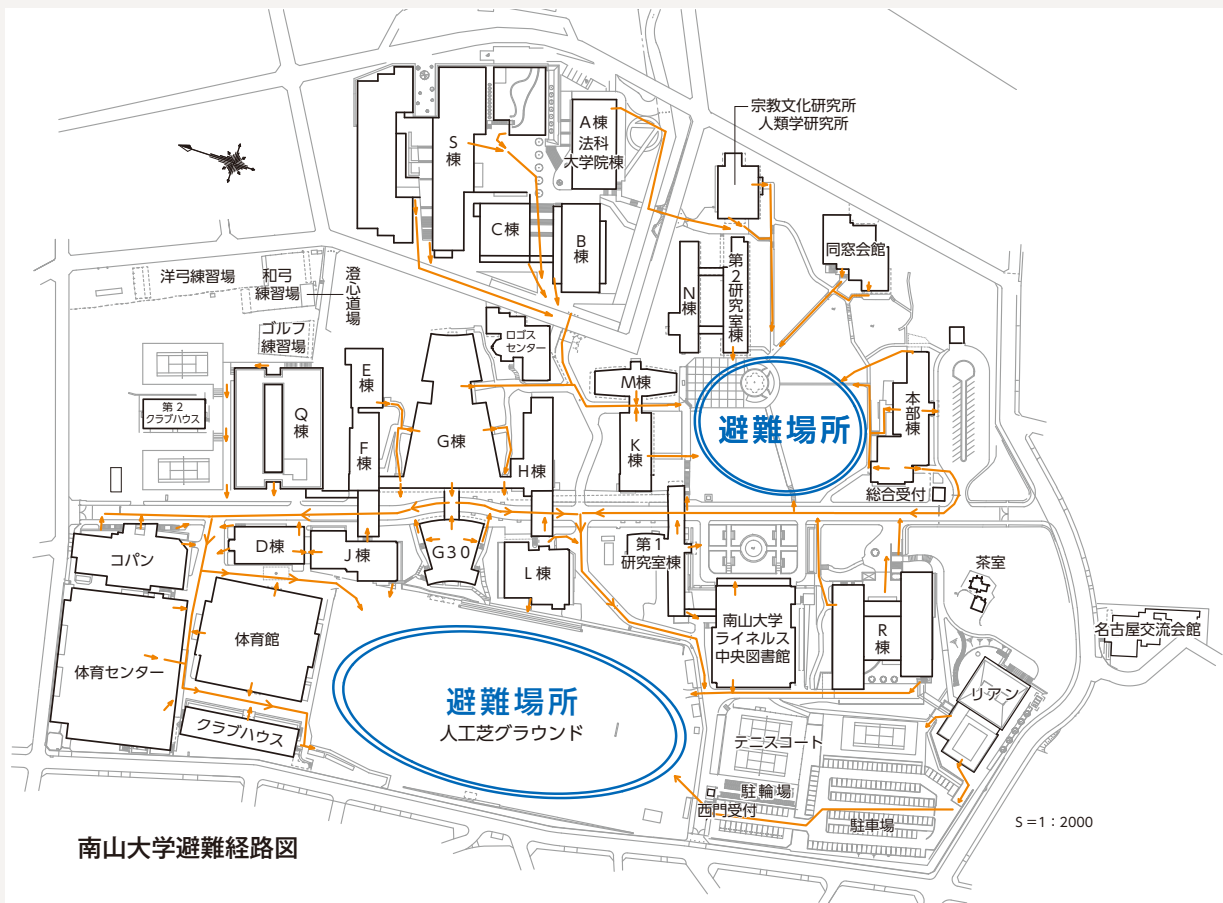
Campus Map



- AED設置場所**
 キャンパス外設置場所 6カ所
 ・名古屋交流会館 玄関正面の壁
 ・フォワイエ南山 1階自動扉内壁面
 ・四ツ谷の里 1階玄関内 自立スタンド台
 ・蒲都市営共同艇庫
 ・漕艇部庄内川艇庫
 ・ヤンセン国際寮 玄関内 左の壁

避難経路図

災害の際は自身の安全確保を最優先してください。



南山大学避難経路図

南山大学SNS公式アカウント



Instagram
@nanzan_university



Facebook
@NanzanUniversity



X
@Nanzan_nyushi



YouTube
@NanzanUniversityTV



南山大学

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
Phone 052-832-3111 (代表)

<https://www.nanzan-u.ac.jp/>